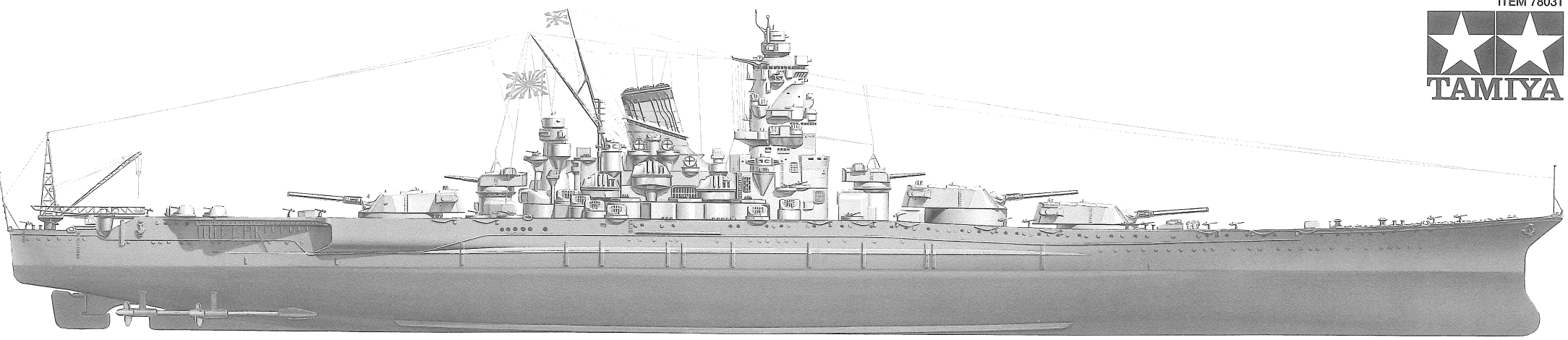


ITEM 78031



# 1:350

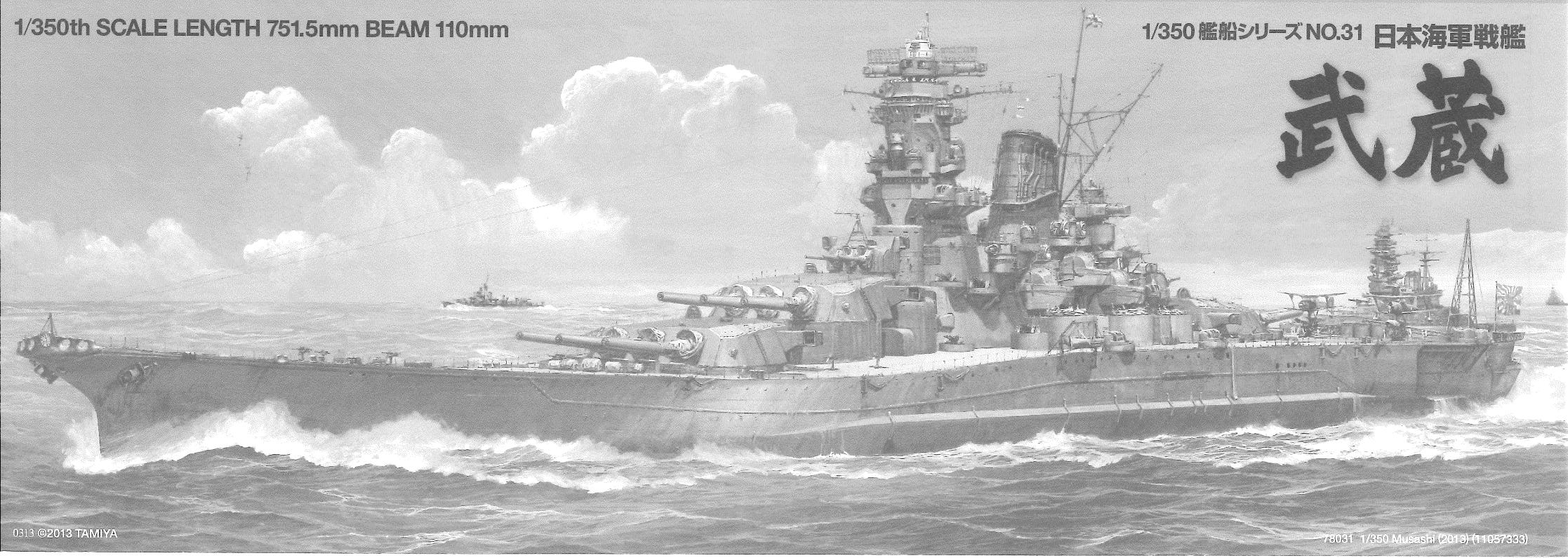
JAPANESE BATTLESHIP

# MUSASHI

1/350th SCALE LENGTH 751.5mm BEAM 110mm

1/350 艦船シリーズ NO.31 日本海軍戦艦

# 武蔵



# 武蔵

|                 |                    |                             |                |
|-----------------|--------------------|-----------------------------|----------------|
| 《主要目》           | 排水量 (満載) ……72,809t | 乾舷 (中央) ……8.667m            | 蒸気温度 ……摂氏325度  |
| 全長 ……263m       | 排水量 (公試) ……69,594t | 乗員数 ……2,500人                | 機銃 ……25mm単装26挺 |
| 水線長 ……256m      | 排水量 (基準) ……65,000t | 《推進機関》                      | 機銃 ……13mm連装2基  |
| 最大幅 ……38.9m     | 重油満載量 ……6,300t     | 主砲 ……タービン4基                 | 飛行機 (水偵) ……7機  |
| 吃水線幅 ……36.9m    | 航続力 ……7,200海里/16kt | 缶数 ……12缶                    | 射出機 ……2基       |
| 吃水 (公試) ……10.4m | 最高速度 ……27.3kt      | 缶数 ……12缶                    | 電波探信機 ……21号型2基 |
|                 | 軸馬力 ……150,000hp    | 蒸気圧力 ……25kg/cm <sup>2</sup> | 電波探信機 ……22号型2基 |
|                 |                    |                             | 電波探信機 ……13号型2基 |

## 建造開始まで

大正6年(1917年)、第一次大戦のさなかのことでしたが、日本海軍は「八八艦隊」と名づけられた強力な艦隊の建設に着手しました。この計画は、長門、陸奥、加賀、土佐、紀伊、尾張など8隻の新型巡洋艦を中心とした世界最強の艦隊を作り上げようというものでした。この16隻の戦艦、巡洋戦艦は、どれも当時としては画期的なもので、特にまだ名前の決められていなかった4隻は、常備排水量4万7500トン、46cm砲8門を主砲とする巨艦となる予定でした。日清、日露の戦いを勝ち抜いて一流海軍国の仲間入りを果たした日本は、さらにイギリス、アメリカと肩をならべるために、いっそうの海軍力の充実を計画したのです。しかし大正10年(1921年)ワシントン軍縮条約が成立、主力艦の保有量が制限されると共に建造も10年間にわたって禁止されたため、長門と陸奥が完成、そして赤城と加賀が航空母艦に生まれ変わったものの、この雄大な計画は夢と終わってしまったのです。

ワシントン軍縮条約による主力艦の建造禁止期間は、ネーバル(海軍)・ホリディと呼ばれますが、このネーバル・ホリディが終わりに近づいた昭和4年から5年にかけて、金剛型にかわる3万5000トン級戦艦の建造が計画されました。しかし昭和5年、ロンドン軍縮条約が成立、ネーバル・ホリディは昭和11年(1936年)末まで延長されたため、この計画も実現しませんでした。昭和9年10月、ネーバル・ホリディの終わりを2年後にひかえて、日本海軍は新型戦艦の計画に着手しました。この時、軍令部から出された要求は、主砲に46cm砲8門、副砲に15.5cm砲3連装4基または20cm連装4基、速力30ノット以上、防禦力は2万から3万5000mの距離で主砲と同じ46cm砲の命中弾に耐えられること、航続距離は18ノットで8000カイリという、まさに超戦艦というべきものでした。日本の経済力や工業力からみて、保有量でアメリカと対抗するのは難しく、劣勢を個々の艦の威力を高めることで補うほかなかったからでした。また、海戦の主役は戦艦という、大艦巨砲主義の絶頂期でもあったのです。この新戦艦の計画は、福田啓二造船大佐を設計主務者として作業が進められ、昭和10年3月にはA140と呼ばれる原案ができました。この案は公試排水量69500トン、水線長294m、速力31ノット、46cm砲3連装3基というもので、大和型との各原案中、最大最速でした。そして主砲は9門とも前甲板に集中しているのも特色でした。この原案に続いて、排水量、寸法、速力、主砲配置などがことなる20種類以上の案が作られ、比較検討の結果、公試排水量6万5200トン、水線長253m、速力27ノット、主砲には46cm砲3連装3基というA140F5案に落ち着きました。この時期は、昭和11年7月あるいは昭和10年10月頃と言われています。しかしこのA140F5案も最終案とはなりません。それは主機に予定していたディーゼル

エンジンが不調で、実用に適さないと判断されたことによるものでした。このため、主機は予定されていたディーゼルとタービンの併用からタービンだけに改められることになり、公試排水量は6万8200トン、水線長は256mとなっており、これが最終案となりました。3基の砲塔は前部に2基、後部に1基というオーソドックスな配置をとっていましたが、副砲は砲郭式をやめ、上部構造物の前後に各1基、中央部左右に各1基ずつ配置したのが、それまでの日本戦艦にない特徴でした。バルバスバウ(球状船首)の採用も、日本戦艦としては新しい試みでした。また艦首に大きなシアーをつけ、前甲板が一番砲塔あたりで最も低くなり、その後方から再び高くなっている艦の前半のラインも、他に例のないものでした。前檣は塔形の新式のもので、前面々積も側面々積も長門型にくらべると少なく、全体的にコンパクトにまとめた型になりました。さらに後方へ傾斜した煙突や後部マストも戦艦としては例がなく、大和、武蔵の大きな特色となっていました。武蔵の写真や図面を見ると、砲塔や艦首、煙突などが艦の中央部に集中しているのが目立ちますが、これは主要部をできるだけ集中させ、そこに十分な装甲を施して防禦力を高める集中防禦方式を採用したためで、これもそれまでの日本艦にはない特色でした。また排水量の割には全長が短く、幅が広い艦形も、この新戦艦の大きな特徴でした。

## 厳重な機密保持

新戦艦は、一番艦(仮称一号艦・後の大和)が呉海軍工廠、二番艦(仮称二号艦、後の武蔵)が三菱長崎造船所で建造されることになり、昭和12年1月、三菱に内示されました。日本海軍の秘密区分は、軍機、軍極秘、秘、部内限の4段階になっており、通常、軍艦の建造は軍極秘あつかいでした。しかし、この新戦艦の場合は、最高の軍機あつかいでした。このため機密保持対策は厳重をきわめ、工事関係者の身元が徹底的に調査されたのはもちろん、工事場への出入りもきびしくチェックされ、たとえ将官であっても工事に関係のないものは出入りできなかったと言われます。さらに外部の目からその存在をかくすために、建造現場となった第2船台周囲に高さ6mのトタン板のへいが作られ、その上部のガントリークレーンのまわりにはシュロ縄のスタレがはりめぐらされました。その最も高いところはガントリークレーンの上からでも約4m、地上からは約60mもあったと言われます。15m×10mのスタレが建造中の武蔵の姿をかくすために数百枚も使われることになり、このため、一時は九州からシュロ縄が姿を消し、漁業関係者をあわてさせることにもなりました。船台の対岸にあるソビエト領事館の前に倉庫を建てて目かくしをしたことは有名ですが、このほかにも住宅を買収したり、監視所を作るなど、万全の対策が行われたのです。空前の巨艦にもかかわらず、武蔵の建造はスムーズに進み、進水重

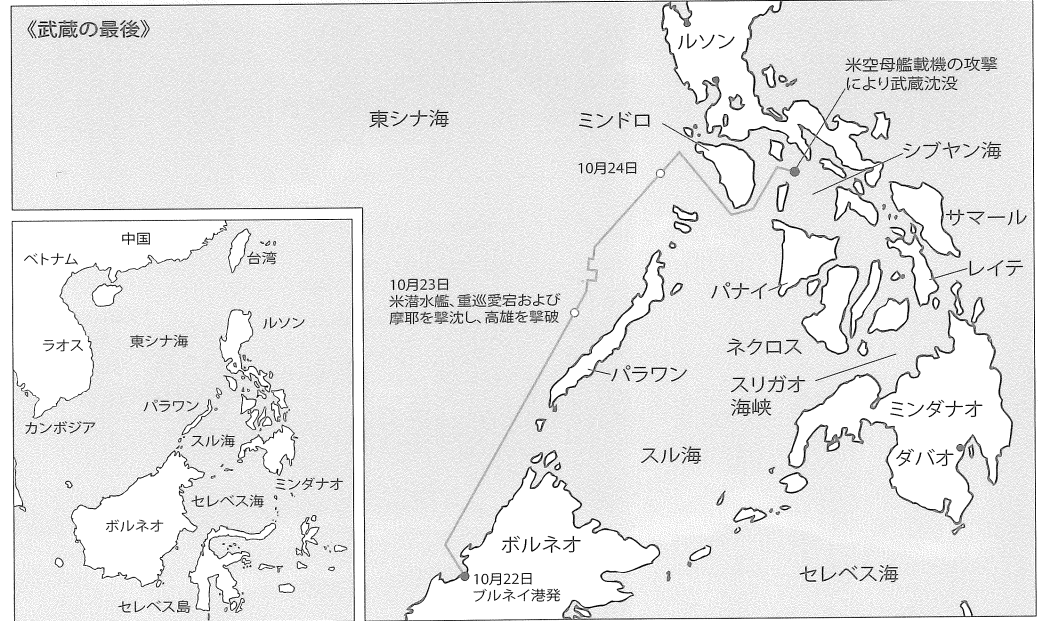
量は実に3万5600トンにも達し、これは戦艦陸奥の公試水量に匹敵するものでした。もちろん、これだけの巨艦の進水は日本で初めてのことであり(大和はドックでの進水)、外国でもクイーン・メリーの3万7300トンという例があるだけでした。このため、多くの問題が予想されたものの、昭和15年11月1日午前8時56分、武蔵は長崎港内にその巨体を無事に浮かべることができました。この時、船台附近の海面水位は30cm以上も上昇し、120cm以上の高波がおき、対岸の浪の平では高波による浸水被害がおきたと言われていました。進水後、武蔵は艦装対岸へつながれ、ここでも、機密保持のために、目かくしとして艦装中の春日丸(後の空母大鷹)が、すぐ横に係留されることになりました。大和との違い

こうして極秘のうちに建造が進められた武蔵は、大和より8ヶ月おくれて、昭和17年8月5日に竣工しました。基本的には大和と同じでしたが、司令部施設の増強、艦橋作戦室や信号指揮所、信号所、通信指揮室の改良が行われており、大和では昭和18年に陸われた副砲塔の防禦強化や25mm3連装機銃4基の追加も行われていました。従って武蔵の竣工時の対空兵装は、12.7cm高角砲連装6基、25mm3連装機銃12基、13mm連装機銃2基でしたが、昭和19年4月に機銃が増強され、25mm3連装機銃30基、25mm単装機銃25基、13mm

連装機銃2基となりました。そしてマリアナ沖海戦後、さらに対空兵装強化が行われ、昭和19年10月には25mm機銃が3連装35基、単装26基、13mm機銃が連装2基となりました。なお昭和19年4月の改装の際に大和と同じく両面の副砲が撤去されました。ここには高角砲が増強される予定でしたが、これは最後まで行われませんでした。また改造された高角砲座に6基の25mm3連装機銃が増設されたとも言われています。電探の装備は大和より早く、昭和17年9月に21号電探1基を装備、18年7月には22号電探が2基、19年4月には13号電探2基が追加されました。

## 武蔵の戦い

連合艦隊に加わった武蔵は、昭和18年2月11日から翌年3月31日まで、連合艦隊旗艦をつとめました。この間、19年3月29日、アメリカ潜水艦の雷撃を受け、魚雷1本が命中しましたが、航行に支障はなく、不沈戦艦ぶりを発揮しました。その後、マリアナ海域戦に参加、続いてフィリピン沖海戦に参加した武蔵は、昭和19年10月、栗田中将の第1撃撃部隊の主力としてレイテへ向かいました。しかし、24日、シブヤン海でアメリカ艦上機の攻撃を受け、その巨体を海中に没したのです。この日、武蔵を襲ったアメリカ機の数は、約140機にもなり、このうち30機以上を撃墜しましたが実際に17発の爆弾、20発の魚雷が命中したほか、18発の至近弾を受けての最後でした。





# JAPANESE BATTLESHIP MUSASHI

«Specifications»  
Overall Length: 263.0m  
Length between Perpendiculars:  
256.0m  
Beam: 38.9m  
Depth: 18.915m  
Normal Draft: 10.4m  
Full Displacement: 72,809t

Trials Displacement: 69,594t  
Standard Displacement: 65,000t  
Heavy Oil Carried: 6,300t  
Range: 7,200nm/16kt  
Maximum Speed: 27.3kt  
Maximum Output: 15,000hp  
Freeboard (center): 8.667m  
Crew: 2,500

«Propulsion»  
12 Boilers, 4 Steam Turbines  
Steam Pressure: 25kg/cm<sup>2</sup>  
Steam Temperature: 325°C

«Armament & Equipment»  
Triple 45-caliber 46cm Gun Turret x3  
Triple 15.5cm Gun Turret x2

Twin 12.7cm Gun x6  
Triple 25mm Cannon Mount x35  
Single 25mm Cannon Mount x26  
Twin 13mm Machine Gun Mount x8  
Reconnaissance Floatplanes x7  
Catapult x2  
Model 21 Radar x2  
Model 22 Radar x2

Model 13 Radar x2  
Hydrophone x1  
Sonar x1  
15m Rangefinder x4  
10m Rangefinder x1  
8m Rangefinder x2  
150cm Searchlight x6

In 1917 the Japanese Navy began planning modernization of their aging fleet with a line of powerful new warships called the "Eight-Eight" squadron. This was to comprise eight new battleships including Nagato, Mutsu, Kaga, Tosa, Kii and Owari, and eight new battle cruisers including Amagi, Akagi, Takao and Atago. In addition to these 16 capital ships, 4 huge leviathans armed with 46cm guns and displacement of 47,500 tons each were to be built. However, the Treaty of Washington signed by Japan in 1921 limited the possession of capital ships and prohibited the building of new ships for 10 years. Although Nagato and Mutsu were completed during this period and Akagi and Kaga were converted into aircraft carriers, the grand "Eight-Eight" plan was never realized. In 1929-30 just when the restrictions were coming to an end, the Treaty of London was signed, imposing similar restrictions on signatory nations as far as ship building was concerned. In October 1934, under tight security, the Japanese Navy began plans for a super battleship, and 22 months later a proposal called A140-F5 was adopted. After several modifications, final plans were adopted for a 68,200 ton dreadnought in March 1937. Construction began on what would become the famous battleship Yamato in the Kure Naval Yard in November 1937.

In violation of the London and Washington Treaties, and in the greatest secrecy, the Japanese Navy began construction of a 2nd Super Battleship named "Musashi" on March 29, 1938 at the Nagasaki Naval Shipyards. A curtain of sisal mats 2.7km long was built around Musashi's slipway during construction to keep it secret from the public. Musashi's launching was camouflaged with equal care, with police units sealing off the opposite side of Nagasaki city, allowing the ship to be launched in secrecy and without any ceremony early in the morning of November 1, 1940. Being the sister ship of Yamato, Musashi's most distinguishing features were her 9 huge 46cm guns, the largest ever carried aboard a ship. Housed in 3 turrets of 3 guns each, they had a range of 41,000m and could penetrate 43cm of armor plating at a distance of up to 30,000m. One armor piercing projectile for these type 94 guns weighed 1.4 tons, and the turrets that housed the guns weighed 2,265 tons each. In addition to her main guns, Musashi carried 12 each of 15.5cm and 12.7cm guns, as well as 131 25mm AA guns. Displacement at full load was 71,659 tons and she was powered by 4 steam turbine engines with an output of 150,000hp and a top speed of 27.3 knots.

Musashi was commissioned for service on August 5, 1942, and she headed for Truk Lagoon to assume duties as flagship of the Japanese fleet. During combat operations North-West of the island of Palau on March 29, 1944, Musashi was torpedoed by the U.S. submarine "Tunny" and suffered major damage. During Operations South of Luzon, Philippines on October 24, 1944, Musashi was attacked by several U.S. planes from four aircraft carriers, and sustained 20 aerial torpedo and 17 bomb hits, plus 16 damaging near misses. Four and a half hours after this last attack, the proud Musashi sank, almost to be forgotten in later years, while her sister ship Yamato went on to be known as the largest battleship ever seen.

Im Jahre 1917 begann die Japanische Marine die Planung der Modernisierung ihrer alternden Flotte mit einer Baureihe von mächtigen, neuen Kriegsschiffen unter dem Namen "Acht-Acht" Schwadron. Diese sollte acht neue Schlachtschiffe umfassen, darunter Nagato, Mutsu, Kaga, Tosa, Kii und Owari und acht neue Schlachtkreuzer mit Amagi, Akagi, Takao und Atago. Zusätzlich zu diesen 16 Groß-Schiffen sollten 4 Riesen-Ungetüme bewaffnet mit 46cm Kanonen und einer Verdrängung von je 47.500 Tonnen gebaut werden. Das Abkommen von Washington jedoch, das Japan 1921 unterzeichnet hatte, beschränkte den Besitz von Groß-Schiffen und verbot 10 Jahre lang den Bau von neuen Schiffen. Obwohl Nagato und Mutsu während dieser Periode fertig gestellt und Akagi sowie Kaga in Flugzeugträger umgewandelt wurden, wurde der großartige "Acht-Acht" Plan niemals verwirklicht. Zwischen 1929 bis 1930, gerade als die Beschränkungen zu Ende waren, wurde das Abkommen von London unterzeichnet, welches den unterzeichnenden Nationen in Bezug auf den Schiffsbau ähnliche Beschränkungen auferlegte. Im Oktober 1934 begann die Japanische Marine unter strengster Geheimhaltung mit der Planung von Super-Schlachtschiffen und 22 Monate später wurde ein Vorschlag unter der Bezeichnung A140-F5 angenommen. Nach etlichen Veränderungen wurden im März 1937 die endgültigen Pläne für ein 68.200 Tonnen Schlachtschiff angenommen. Im November 1937 begann im Kure Marinehof die Konstruktion dessen, was später das berühmte Schlachtschiff Yamato werden sollte.

Unter Verletzung der Abkommen von London und Washington und unter höchster Geheimhaltung begann die Japanische Marine am 29. März 1938 auf der Nagasaki Marine-Schiffswerft die Entwicklung eines 2. Super-Schlachtschiffs mit dem Namen "Musashi". Ein 2,7km langer Vorhang aus Sisal-Matten wurde während des Baus rund um die Helling der Musashi errichtet, um sie vor der Öffentlichkeit geheim zu halten. Der Stapellauf der Musashi war mit gleicher Sorgfalt getarnt, wobei Polizeieinheiten die gegenüber liegende Seite von Nagasaki-Stadt was den Stapellauf des Schiffs unter Geheimhaltung und ohne jegliche Zeremonie am frühen Morgen des 1. November 1940 ermöglichte. Als Schwesterschiff der Yamato waren ihr hervorstechendstes Merkmal die 9 riesigen 46cm Kanonen, die größten welche jemals ein Schiff an Bord mitführte. Eingebaut in drei Türme zu je 3 Kanonen hatten sie eine Reichweite von 41.000m und konnten 43cm Panzerplatten auf eine Entfernung bis zu 30.000m durchschlagen. Eine der panzerbrechenden Granaten dieser Kanonen vom Typ 94 wog 1,4 Tonnen und die Türme, welche die Kanonen aufnahmen, wogen je 2.265 Tonnen. Zusätzlich zu ihren Hauptkanonen trug die Musashi je 12 von 15,5cm und 12,7cm wie ferner 131 25mm Luftabwehr-Kanonen. Voll beladen betrug die Verdrängung 71.659 Tonnen und sie wurde von vier Dampfturbinen mit einer Leistung von 150.000PS bei einer Spitzengeschwindigkeit von 27,3 Knoten angetrieben.

Die Musashi wurde am 5. August 1942 in Dienst gestellt und sie nahm Kurs auf die Truk-Lagune um ihre Aufgabe als Flaggship der japanischen Marine anzunehmen. Wäh-

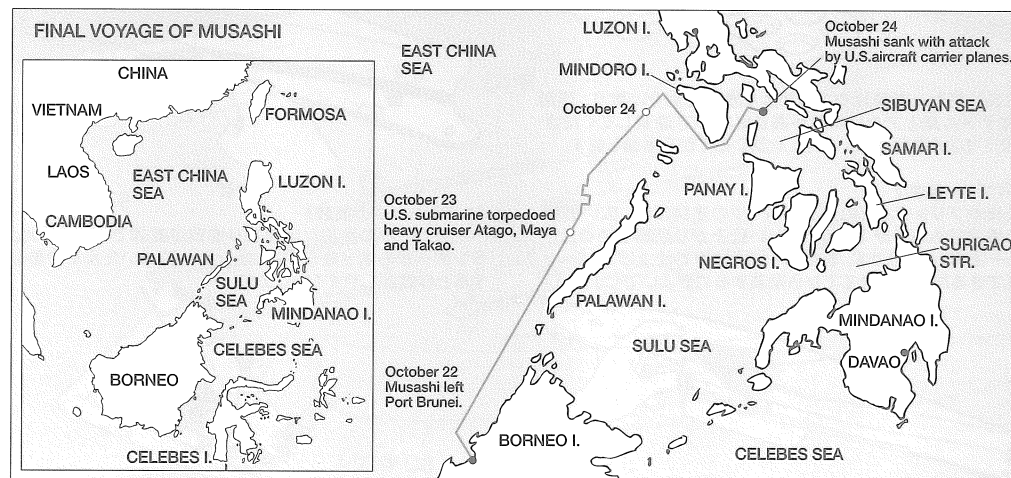
rend Kampfhandlungen nordwestlich der Insel von Palau am 29. März 1944 wurde die Musashi vom US-U-Boot "Tunny" torpediert und erhielt größere Beschädigungen. Bei Operationen südlich von Luzon auf den Philippinen am 24. Oktober 1944 wurde die Musashi von etlichen US-Flugzeugen von vier Flugzeugträgern angegriffen und erhielt 20 Lufttorpedo- und 17 Bombentreffer, dazu 16 Schaden verursachende, knappe Fehlschüsse. Viereinhalb Stunden nach diesem letzten Angriff sank die stolze Musashi und geriet in späteren Jahren fast in Vergessenheit, während ihr Schwesterschiff Yamato weiterhin als das größte je gesehene Schlachtschiff bekannt ist.

En 1917, la Marine Japonaise commença la modernisation de sa flotte vieillissante avec une série de puissants nouveaux navires désignée Escadre "Huit-Huit". Elle devait comprendre huit nouveaux cuirassés incluant les Nagato, Mutsu, Kaga, Tosa, Kii et Owari, et huit nouveaux croiseurs de batailles dont les Amagi, Akagi, Takao et Atago. En plus de ces seize navires, quatre monstres de 47.500 tonnes chacun armés de canons de 46cm devaient être construits. Cependant, le Traité de Washington signé par le Japon en 1921 limitait la possession de navires importants et interdisait la construction de nouveaux bâtiments pour 10 ans. Bien que le Nagato et le Mutsu furent terminés durant cette période et que l' Akagi et le Kaga soient convertis en porte-avions, l'ambitieux plan "Huit-Huit" ne fut jamais réalisé. En 1929-30, à l'approche de la levée des restrictions, le Traité de Londres fut signé, imposant des limitations identiques aux nations signataires en matière de construction navale militaire. En octobre 1934, la Marine Japonaise commença l'étude secrète d'un super cuirassé et 22 mois plus tard, un projet désigné A140-F5 fut adopté. Après plusieurs modifications, les plans définitifs d'un cuirassé de 68.200 tonnes furent émis. La construction de celui qui allait devenir le célèbre cuirassé Yamato débuta dans

l'arsenal de Kure en novembre 1937.

En violation des traités de Londres et Washington, et dans le plus grand secret, la Marine Japonaise lança la construction d'un deuxième super cuirassé nommé "Musashi" le 29 mars 1938 à l'arsenal de Nagasaki. Durant sa construction, une palissade de matelas de sisal de 2,7km de long fut édifée autour de la rampe de lancement du Musashi pour le tenir caché des regards. La mise à l'eau fut camouflée avec le même soin, des forces de police interdisant l'accès à l'autre côté de la ville de Nagasaki. Le Musashi fut lancé sans cérémonie au matin du 1er novembre 1940. Sistership du Yamato, Le Musashi était équipé de 9 canons de 46cm, les plus gros jamais portés par un navire. Installés dans trois tourelles triples, ils avaient une portée de 41.000m et les obus pouvaient traverser un blindage de 43cm d'épaisseur à une distance de 30.000m. Un seul obus perforant de ces canons type 94 pesait 1,4 tonnes et les tourelles pesaient 2.265 tonnes chacune. En complément, le Musashi emportait 12 canons de 15,5cm et 12 de 12,7cm ainsi que 131 canons anti-aériens de 25mm. La jauge à pleine charge était de 71.659 tonnes et la propulsion était assurée par quatre turbines à vapeur développant 150.000 chevaux, permettant d'atteindre 27,3 nœuds.

Le Musashi entra en service le 5 août 1942 et mit le cap vers le Lagon de Truk pour y prendre le commandement de la flotte japonaise. Lors de combats au nord-ouest de l'île de Palau le 29 mars 1944, Le Musashi fut torpillé par le sous-marin américain "Tunny" et gravement endommagé. Lors de combats au sud de Luzon, Philippines le 24 octobre 1944, le Musashi fut attaqué par des avions américains lancés depuis quatre porte-avions et touché par 20 torpilles aériennes et 17 bombes plus 16 coups rapprochés. Quatre heures et demie après cette attaque, le fier Musashi sombra presque oublié alors que son sistership, le Yamato reste lui dans les mémoires comme le plus grand cuirassé jamais construit.



## PAINTING

### 《武蔵の塗装》

日本の軍艦の塗装には戦時塗色と言われる少し青味がかった濃い灰色を使っていました。これは1903年、日露戦争をひかえてこの塗装が採用されて以来、大戦終結までそのままでした。武蔵もその例にもれずこの塗装が使われました。吃水線以下の艦底はマルーンと呼ばれる暗い赤色です。甲板は鉄板張り、板張りが使われ、鉄板張りは艦体と同色、板張りは塗装されていません。煙突の頂部は黒、後部マストは上方へは煙突の頂部と同じ高さから9m、下方へは煙突の黒色部分の下端までと同じ幅で黒く塗装していました。菊の御紋章は金色、砲身基部の防水カバーはキャンバス色でした。

**Painting the Japanese Battleship Musashi**  
Japanese warships were painted in a standard blue-tinged dark gray color scheme from 1903, just before the Russo-Japanese War, until the end of WWII. The Musashi featured a gray upper hull with a maroon lower hull below the waterline. The deck was covered

with iron plating or boarding, with the former colored gray like the hull, and the latter unpainted. The top of the ship's funnel was black, as was the portion of the mast measuring from the lower border of the black part of the funnel, to a point 9m above the funnel top. The Imperial chrysanthemum crest was golden, and the waterproof covers at the base of the gun barrels were light gray.

**Lackierung des Japanischen Schlachtschiffs Musashi**  
Japanische Kriegsschiffe waren standardmäßig in einem leicht bläulichen Dunkelgrau-Farbtönen lackiert und zwar ab 1903, unmittelbar vor dem Russisch-Japanischen Krieg bis zum Ende des Zweiten Weltkriegs. Die Musashi besaß ein graues Rumpf-Oberteil und ein kastanienbraunes Unterteil unterhalb der Wasserlinie. Das Deck war mit eisernen Panzerplatten oder Holzbohlen gedeckt, wobei erstere wie der Rumpf grau gefärbt waren und letztere unlackiert blieben. Der obere Abschluss des Schiffs-Schornsteins war schwarz, ebenso der obere Bereich des Mastes und zwar ab der unteren Grenze des schwarzen Teils des Schornsteins bis zu einem Punkt 9m oberhalb der Schornstein-Spitze. Das Kaiserliche Chrysanthen-Wappen war golden

und die wasserdichten Abdeckungen an der Basis der Kanonenrohre waren hellgrau.

### Peinture du Cuirassé Japonais Musashi

De 1903 - juste avant la Guerre Russo-Japonaise, jusqu'à la fin de la 2nde G.M., les navires de combat japonais étaient peints dans une couleur standard gris foncé bleuté. La coque supérieure du Musashi était grise tandis que la partie inférieure sous la ligne de flottaison était marron. Le pont était couvert de plaques d'acier peintes en gris comme la coque et de lattages, laissés nus. Le sommet de la cheminée était noir, tout comme la partie du mât située en arrière de la cheminée, entre la limite inférieure du noir sur la cheminée et un point situé à 9 mètres au dessus du sommet de la cheminée. Le blason du Chrysanthème Impérial était doré est les joints étanches à la base des fûts des canons étaient gris clair.

### 《使用する塗料》TAMIYA PAINT COLORS

TS-33 ●ダールレッド / Dull red / Mattrot / Rouge mat  
TS-66 ●呉海軍工廠グレイ(日本海軍) / IJN Gray (Kure arsenal) / IJN Gray (Kure Arsenal) / Gris Marine Japonaise (arsenal de Kure)

TS-68 ●木甲板色 / Wooden deck tan / Holzdeck-Braun / Bois clair

X-2 ●ホワイト / White / Weiß / Blanc

X-5 ●グリーン / Green / Grün / Vert

X-7 ●レッド / Red / Rot / Rouge

X-10 ●ガンメタル / Gun metal / Metall-Grau / Gris acier

X-11 ●クロームシルバー / Chrome silver / Chrom-Silber / Aluminium chromé

X-12 ●ゴールドリーフ / Gold leaf / Gold Glänzend / Doré

XF-1 ●フラットブラック / Flat black / Matt Schwarz / Noir mat

XF-2 ●フラットホワイト / Flat white / Matt Weiß / Blanc mat

XF-10 ●フラットブラウン / Flat brown / Matt Braun / Brun mat

XF-11 ●暗緑色 / J.N. green / Grün der Japanischen Marine / Vert Aéronavale Japonaise

XF-12 ●明灰白色 / J.N. grey / Grau der Japanischen Marine / Gris Aéronavale Japonaise

XF-55 ●デッキタン / Deck tan / Deck-Braun / Havane

XF-59 ●デザートイエロー / Desert yellow / Sandgelb / Jaune désert

XF-63 ●ジャーマングレイ / German grey / Deutsches Grau / Gris Panzer

## PAINTING TIPS

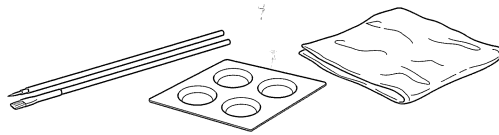
### 《塗装する前に》

各製品の塗装する面のゴミやほこり、油などを柔らかい布で拭き取ってください。中性洗剤で1度洗っておくのもよいでしょう。

接着剤のはみ出しやキズは塗装では隠せません。カッターナイフや目の細かい紙ヤスリで修正します。また、パーティングライン(部品にのこる成型行程上の合わせ目)もヤスリをかけ修正塗装します。

### 《塗装用具について》

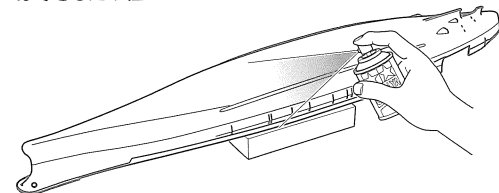
タミヤモデリングブラシ、とき皿、ウエス(ポロ布)をご用意ください。タミヤでは各種モデリングブラシをとりそろえています。筆塗りする場所や用途に合わせてご用意ください。



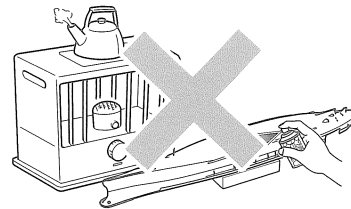
塗装し終わった筆はウエスでよく塗料をぬぐい取り、溶剤(エナメル用とアクリル用がありますので注意してください。)でよく塗料を洗い流し、水洗いしてから塗装します。

### 《スプレー塗装》

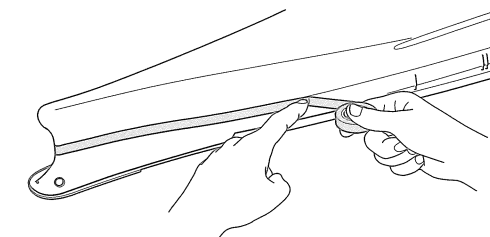
船体やブリッジなどの大きなパーツの塗装には、広い面積の塗装でもムラがでにくく美しい仕上がりが楽しめるスプレー塗料が便利です。また、同じ塗装色で仕上げるパーツはできるだけ組み立ててから塗装するのがよいでしょう。



★スプレー塗料は缶に印刷された注意をよく読んで正しく使用してください。また、火気のある場所での塗装は絶対にしないでください。

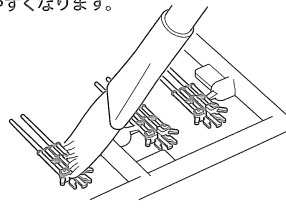


船底の塗り分けはマスキング塗装をします。ベースを呉海軍工廠グレイで塗装し、完全に乾かします。喫水線位置にマスキングテープを使ってダールレッドに塗装する部分を残してマスクしてください。



### 《小さなパーツの塗装》

小さなパーツの塗装には筆塗り塗料が最適です。パーツはランナーから切り取らずに、ランナーについたまま塗装すると作業がしやすくなります。



### PRIOR TO PAINTING

★Remove all dust and oil from parts prior to painting. If necessary, wash with detergent, rinse off thoroughly and allow to air dry.

★Remove excess cement, fill in and clean up joints and seam lines. Smooth surface using a modeling knife and fine abrasive papers.

### BRUSH PAINTING

★Brush painting is the most common method of adding color to models, especially for the fine detail. In addition to the basic paints and brushes, the following items come in handy when painting: exclusive paint thinner, an empty paint jar or small paint tray, and rags. After painting, wipe paint from brush with rags and clean brush with thinner.

★Allow adequate ventilation while painting.

### SPRAY PAINTING

★For finishing large areas, the use of spray paints or an airbrush will provide an even finish. Use a cardboard box, newspapers, etc. to keep from painting other areas.

★Objects to be painted should be secured on a base, so that you have access to all areas. Use double-sided tape or spring clips for holding small parts.

★Do not paint near open flames or any other heat sources.

★Paint whole hull with IJN gray (Kure arsenal). After paint has dried, mask hull above waterline using masking tape (sold separately) and paint hull bottom with dull red.

### VOR DER LACKIERUNG

★Vor der Lackierung alle Staub- und Ölreste entfernen. Mit Spülmittel abwaschen, wenn nötig, gründlich spülen und an der Luft trocknen lassen.

★Überflüssigen Klebstoff entfernen, Modell abspachteln und Fugen verschließen. Oberflächen mit Modelliermesser bearbeiten, abspachteln und schmirgeln.

### BEMALUNG MIT PINSEL

★Die Bemalung mit einem Pinsel ist die üblichste Methode der Bemalung und besonders der kleinen Einzelheiten. Zusätzlich zu den Farben und Pinseln sind folgende Gegenstände für die Bemalung nützlich: speziell für Farben entwickelter Verdünnern, ein leerer Farbtopf oder Farbpalette und ein Wischtuch. Nach dem Bemalen mit einem Tuch Farbe vom Pinsel wischen und Pinsel mit Verdünnern reinigen.

★Sorgen Sie bei der Bemalung für ausreichende Belüftung.

### SPRÜH-LACKIERUNG

★Bei der Lackierung von großen Flächen erreicht man mit Sprüh- oder Airbrush-Farben eine glatte Oberfläche. Es wird empfohlen, an einem klaren Tag mit geringer Luftfeuchtigkeit zu arbeiten. Sprüh-Farben, wenn möglich, draußen an einem schattigen und windstillen Platz verarbeiten. Karton, Zeitungen usw. verwenden, um nicht versehentlich andere Flächen mit einzufärben.

★Das zu bearbeitende Objekt auf einen Sockel stellen, sodaß Sie von allen Seiten herankommen. Verwenden Sie die Doppelklebeband oder Federklammern um Kleinteile zu halten.

★Das Modell nicht in Nähe eines offenen Feuers lackieren.

★Den gesamten Rumpf mit IJN Grau (Kure Arsenal) lackieren. Wenn die Farbe trocken ist, den Rumpf mit (getrennt erhält-lichem) Abklebeband abkleben und den Kiel mit Mattrot lackieren.

### PREPARATION

★Enlever la poussière et la graisse de toutes les pièces devant être peintes. Si nécessaire, les nettoyer avec un détergent, rincer soigneusement et laisser sécher.

★Eliminer tout excès de colle, mastiquer et poncer les jointures et lignes de moulage (papier abrasif fin).

### PEINTURE A LA PINCEAU

★C'est la méthode la plus employée, en particulier pour les détails. En plus des peintures et pinceaux classiques, les accessoires suivants sont d'une grande utilité: diluant, pots de peinture vides ou palette et des chiffons. Après exécution, nettoyer le pinceau avec un chiffon et le rincer au diluant.

### PEINTURE A LA BOMBE

★Pour peindre de grandes surface, les bombes aérosols ou l'aérographe sont indispensables pour assurer un fini parfait. Installer les pièces à peindre sur un carton, du journal... pour protéger les alentours.

★Les pièces doivent être fixées sur un support afin de pouvoir accéder à toute leur surface. Utiliser l'adhésif double face ou les clips pour maintenir en place des pièces plus petites.

★Ne pas opérer près d'une flamme.

★Peindre l'ensemble de la coque en gris Marine Japonaise (arsenal de Kure). Après séchage de la peinture, masquer la coque au dessus de la ligne de flottaison à l'aide de bande cache (disponible séparément) et peindre la quille en rouge mat.



# 組み立てる前にお読みください。READ BEFORE ASSEMBLY

**注意** ●このキットは組み立てモデルです。作る前に必ず説明書を最後までお読みください。また小学生などの低年齢の方が組み立てるときは、保護者の方もお読みください。また接着剤や塗料は、必ずプラスチック用をお使いください。(別売) ●工具の使用には十分注意してください。特にナイフ、ニッパーなどの刃物によるケガや事故に注意してください。●接着剤や塗料は使用する前にそれぞれの注意書きをよく読み、指示に従って正しく使用し、使用するときは換気に十分注意してください。●小さなお子様のいる所での作業はやめてください。小さな部品の飲み込みや、ビニール袋をかぶつての窒息などの危険な状況が考えられます。

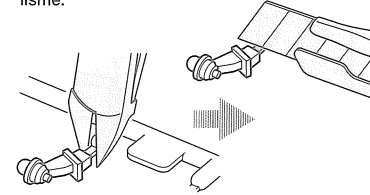
**CAUTION** ●Read carefully and fully understand the instructions before commencing assembly. A supervising adult should also read the instructions if a child assembles the model. ●When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury. ●Read and follow the instructions supplied with paint and/or cement, if used (not included in kit). Use plastic cement and paints only. ●Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to put any parts in their mouths or pull vinyl bags over their heads.

**VORSICHT** ●Bevor Sie mit dem Zusammenbau beginnen, sollten Sie alle Anweisungen gelesen und verstanden haben. Falls ein Kind das Modell zusammenbaut, sollte ein beaufsichtigender Erwachsener die Bauanleitung ebenfalls gelesen haben. ●Beim Zusammenbau dieses Bausatzes werden Werkzeuge einschließlich Messer verwendet. Zur Vermeidung von Verletzungen ist besondere Vorsicht angebracht. ●Wenn Sie Farben und/oder Kleber verwenden (nicht im Bausatz enthalten), beachten und befolgen Sie die dort beiliegenden Anweisungen. Nur Klebstoff und Farben für Plastik verwenden. ●Bausatz von kleinen Kindern fernhalten. Kindern darf keine Möglichkeit gegeben werden, irgendwelche Teile in den Mund zu nehmen oder sich Plastiktüten über den Kopf zu ziehen.

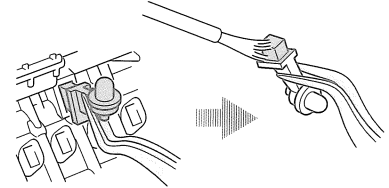
**PRECAUTIONS** ●Bien lire et assimiler les instructions avant de commencer l'assemblage. La construction du modèle par un enfant doit s'effectuer sous la surveillance d'un adulte. ●L'assemblage de ce kit requiert de l'outillage, en particulier des couteaux de modélisme. Manier les outils avec précaution pour éviter toute blessure. ●Lire et suivre les instructions d'utilisation des peintures et ou de la colle, si utilisées (non incluses dans le kit). Utiliser uniquement une colle et des peintures spéciales pour le polystyrène. ●Garder hors de portée des enfants en bas âge. Ne pas laisser les enfants mettre en bouche ou sucer les pièces, ou passer un sachet vinyl sur la tête.

## TECH TIPS

★部品はニッパーを図の向きにあて、ていねいに切り取り、切り口はカッターナイフできれいにします。  
★Cut off parts using side cutters and flatten using modeling knife.  
★Die Teile mit einem Seitenschneider abzwickeln und Grat mit Modellbaumesser glätten.  
★Détacher les pièces au moyen de pinces coupantes et aplatir avec un couteau de modélisme.



★一度部品を仮に組み合わせて(仮組)みて、接着面を確かめます。  
★Attach parts temporarily to confirm cement position prior to apply cement.  
★Die Teile vorübergehend anbringen, um vor dem Klebstoffauftrag die Klebestellen zu erkennen.  
★Fixer temporairement les pièces pour s'assurer de leur placement correct avant d'appliquer la colle.



## RECOMMENDED TOOLS

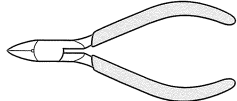
以下の工具をご用意ください。

Tools recommended  
Benötigtes Werkzeug  
Outillage nécessaire

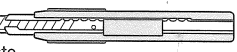
接着剤、流し込みタイプ(プラスチック用)(ABS用)  
Cement / Extra thin cement / Cement (for ABS)  
Kleber / Extra dünnen Kleber / Kleber (für ABS)  
Colle / Colle extra-fluide / Colle (pour ABS)



ニッパー  
Side cutters  
Seitenschneider  
Pince coupante



ナイフ  
Modeling knife  
Modelliermesser  
Couteau de modélisme



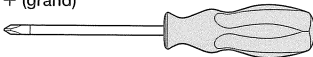
ピンセット  
Tweezers  
Pinzette  
Précèlles



ピンバイス(ドリル刃 1.3mm、2.5mm、3mm)  
Pin vise (1.3mm/2.5mm/3mm drill bit)  
Schraubstock (1.3mm/2.5mm/3mm Spiralbohrer)  
Outil à percer (1.3mm/2.5mm/3mm de diamètre)



+ドライバー(L)  
+ Screwdriver (large)  
+ Schraubenzieher (groß)  
Tournevis + (grand)

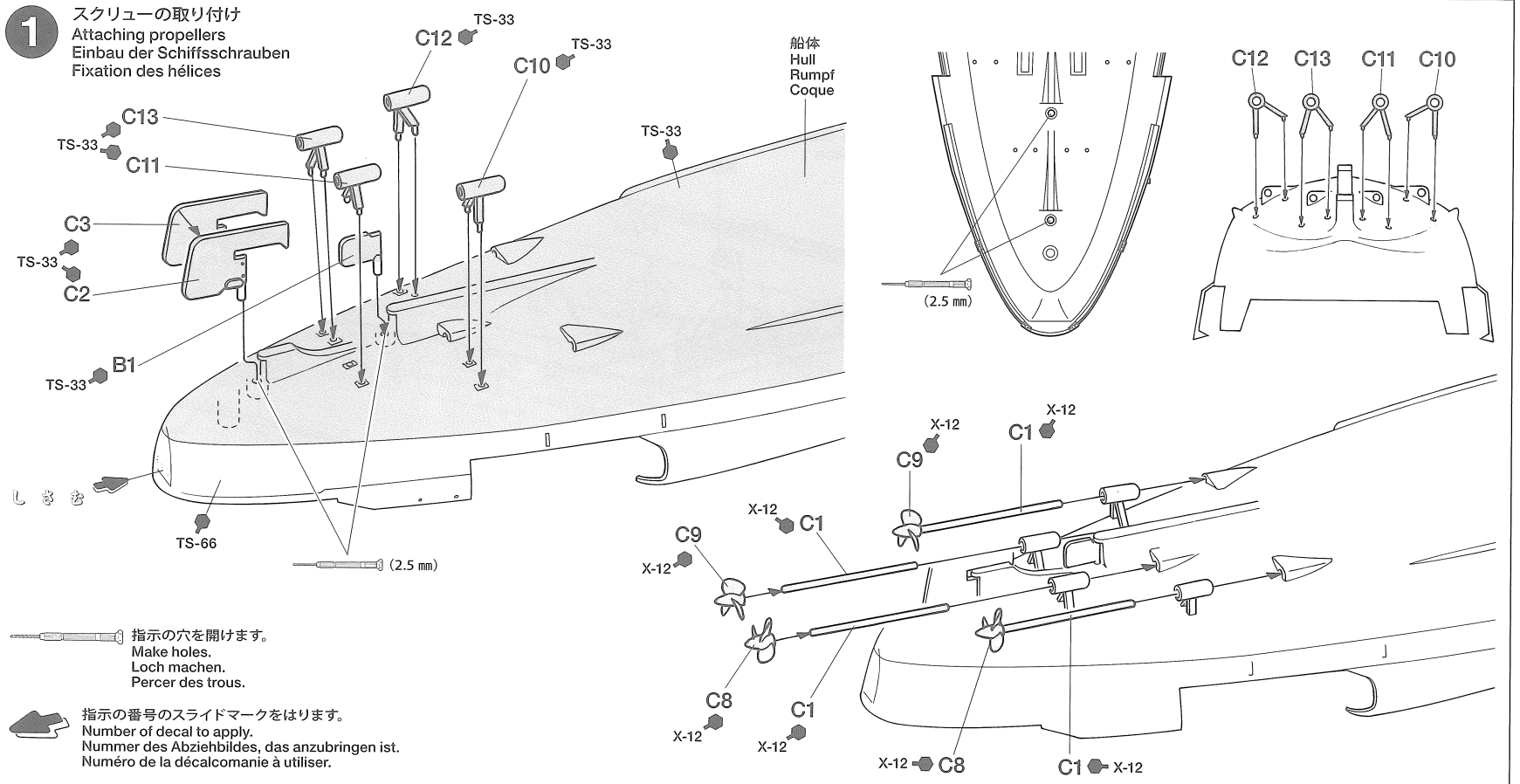


★その他にセロファンテープが必要です。  
★Cellophane tape will also assist in construction.  
★Tesafilem ist beim Bau sehr hilfreich.  
★Du ruban adhésif sera également utile durant le montage.

## ASSEMBLY



●組立説明図の中で塗装指示のない部品は船体色 (TS-66) で塗装します。  
●When no color is specified, paint parts with hull color (TS-66).  
●Wenn keine Farbe angegeben ist, Teile mit Rumpf-Farbe (TS-66) lackieren.  
●Lorsqu'aucune teinte n'est spécifiée, peindre les pièces dans la couleur de la coque (TS-66).



**1** スクリューの取り付け  
Attaching propellers  
Einbau der Schiffsschrauben  
Fixation des hélices

指示の穴を開けます。  
Make holes.  
Loch machen.  
Percer des trous.

指示の番号のスライドマークをはります。  
Number of decal to apply.  
Nummer des Abziehbildes, das anzubringen ist.  
Numéro de la décalcomanie à utiliser.

2

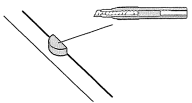
★ディスプレイスタンドに付いている部品を切り離した後は、図のようにランナーの一部が残ってしまうのできれいに切り取ります。

★After cutting off the various Display Base parts, remove excess gate plastic for a smooth finish.

★Nach dem abtrennen der Spritzäste, den Stand-Fuß entgraten und fein nachschleifen.

★Après avoir prélevé les pièces constituant la base de présentation, éliminer par ponçage les restes des points d'injection pour un fini bien lisse.

注意!  
NOTICE



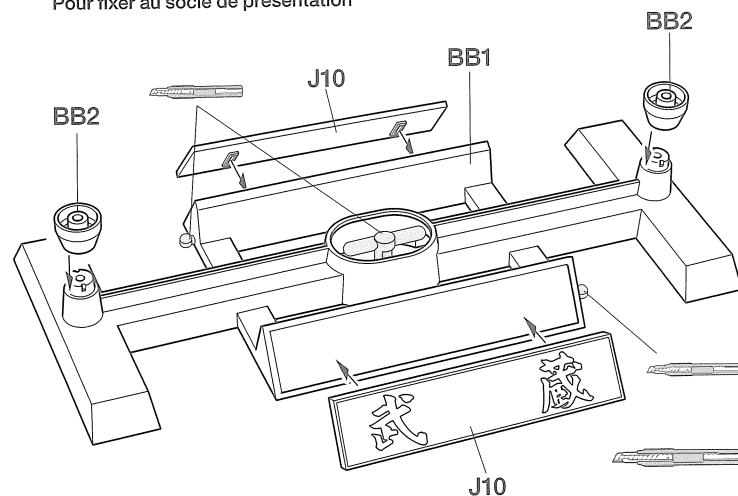
★BB部品の接着にはABS接着剤をお使いください。  
★Use Tamiya Cement (for ABS) for assembling BB parts.  
★Für Zusammenbau des Teiles BB Tamiya Kleber (für ABS) verwenden.  
★Utiliser de la colle Tamiya (pour ABS) pour assembler les pièces BB.



2

《ディスプレイスタンドに固定する場合》

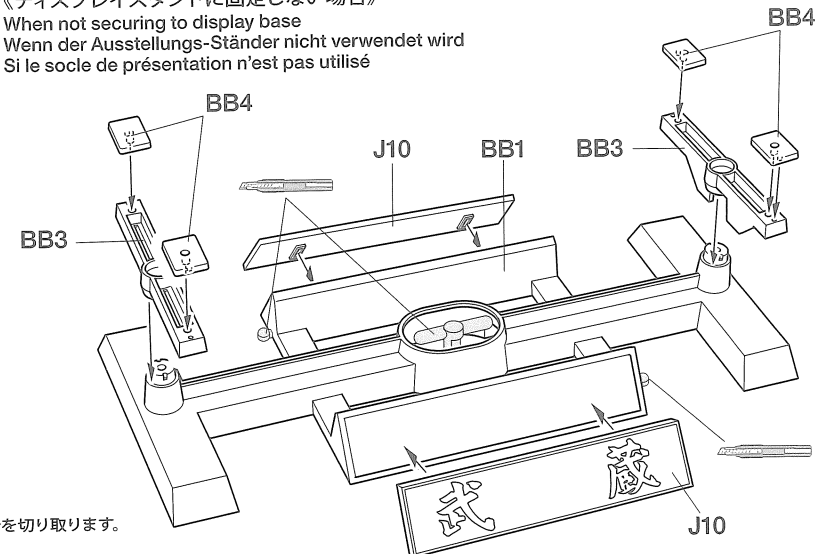
When securing to display base  
Befestigung auf dem Ausstellungs-Ständer  
Pour fixer au socle de présentation



指示の部分を切り取ります。  
Cut off.  
Wegschneiden.  
Découper.

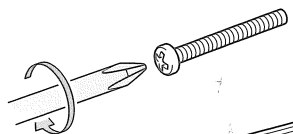
《ディスプレイスタンドに固定しない場合》

When not securing to display base  
Wenn der Ausstellungs-Ständer nicht verwendet wird  
Si le socle de présentation n'est pas utilisé



3

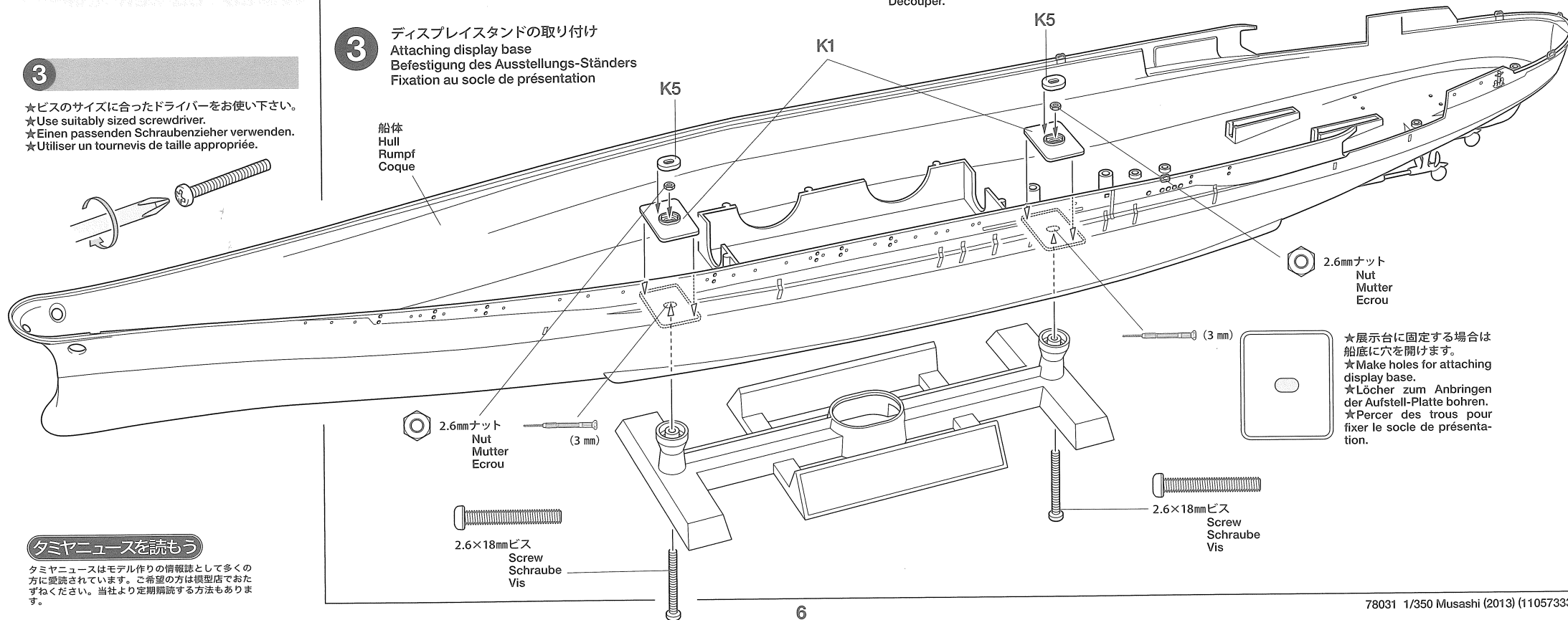
★ビスのサイズに合ったドライバーをお使い下さい。  
★Use suitably sized screwdriver.  
★Einen passenden Schraubenzieher verwenden.  
★Utiliser un tournevis de taille appropriée.



3

ディスプレイスタンドの取り付け

Attaching display base  
Befestigung des Ausstellungs-Ständers  
Fixation au socle de présentation



船体  
Hull  
Rumpf  
Coque

2.6mm ナット  
Nut  
Mutter  
Ecrou

(3 mm)

2.6x18mm ビス  
Screw  
Schraube  
Vis

K5

K1

2.6mm ナット  
Nut  
Mutter  
Ecrou

(3 mm)

2.6x18mm ビス  
Screw  
Schraube  
Vis

★展示台に固定する場合は船底に穴を開けます。  
★Make holes for attaching display base.  
★Löcher zum Anbringen der Aufstell-Platte bohren.  
★Percer des trous pour fixer le socle de présentation.

タミヤニュースを読もう

タミヤニュースはモデル作りの情報誌として多くの方に愛読されています。ご希望の方は模型店でおたずねください。当社より定期購読する方法もあります。

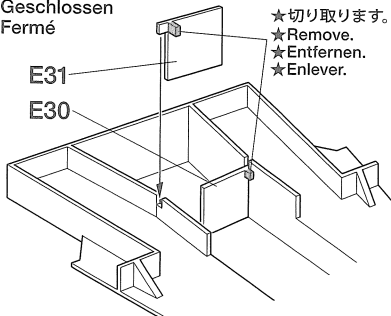


5

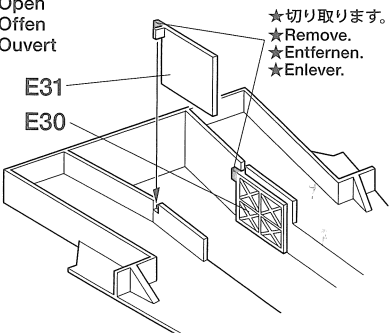
《飛行機格納庫用扉》  
Hangar doors  
Hangar-Tore  
Portes du hangar

★格納庫用扉E30、E31は開閉どちらか選べます。  
★Attach hangar doors (E30 and E31) in open or closed position.  
★Die Hangar-Tore (E30 und E31) in offener oder geschlossener Stellung anbringen.  
★Fixer les portes du hangar (E30 et E31) ouvertes ou fermées.

《閉状態》  
Closed  
Geschlossen  
Fermé



《開状態》  
Open  
Offen  
Ouvert



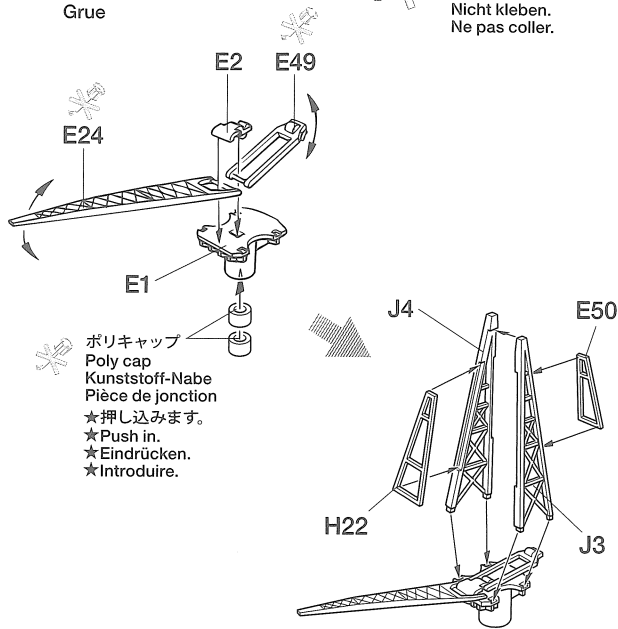
タミヤカタログ

スケールモデルを中心に掲載したタミヤカタログは年に一回発行されています。ご希望の方は模型店でおたずねください。

TAMIYA COLOR CATALOGUE  
The latest in cars, boats, tanks and ships.  
Motorized and museum quality models are all shown in full color in Tamiya's latest catalogue. English / Spanish, German / French and Japanese versions available.

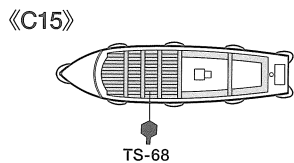
4

クレーンの組み立て  
Crane  
Kran  
Grue

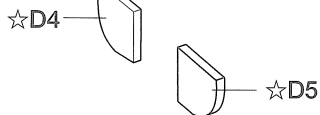


6

後部甲板の取り付け  
Attaching stern deck  
Einbau des Achterdecks  
Fixation du pont de poupe

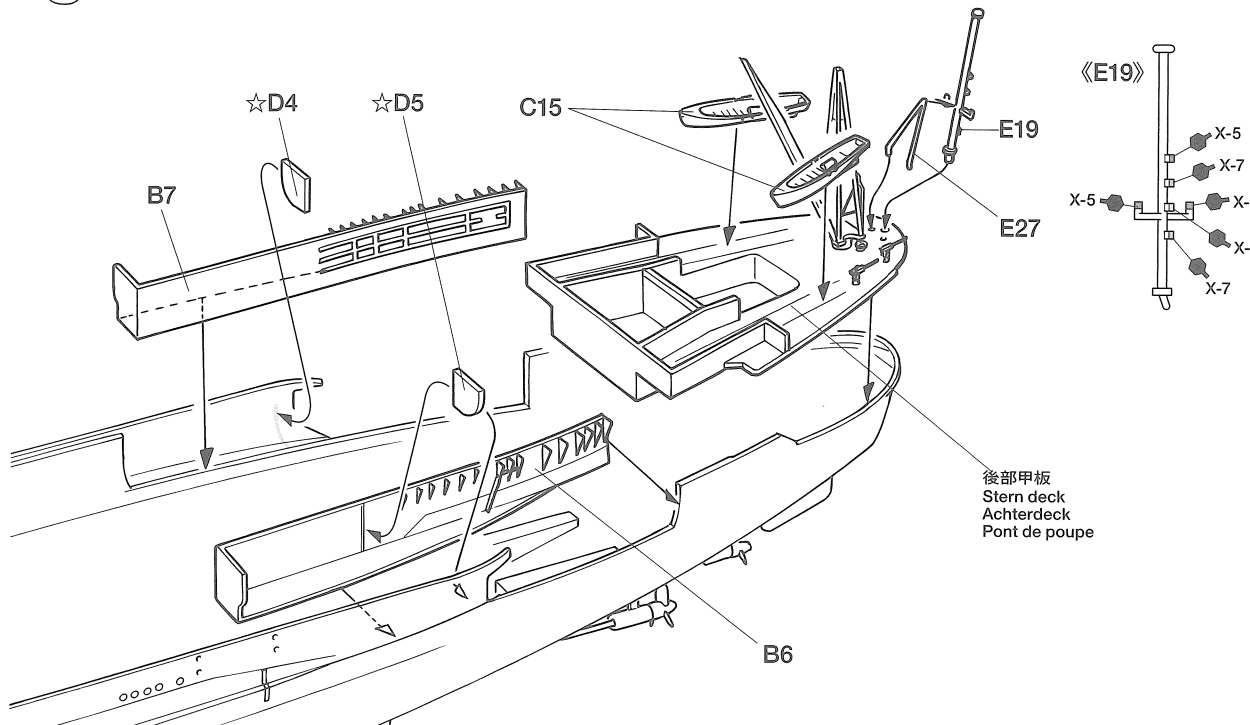
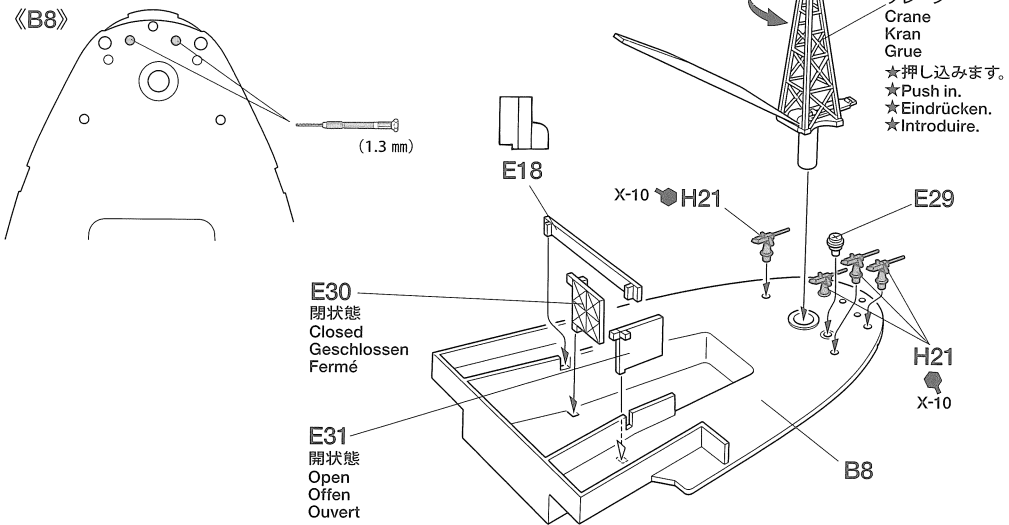


★防水トビラD4、D5はC15でカッターを取り付ける時は取り付けません。  
★Do not attach D4 and D5 when attaching cutter.  
★D4 und D5 nicht anbringen, wenn ein Kutter befestigt wird.  
★Ne pas fixer D4 et D5 si le canot est installé.



5

後部甲板の組み立て  
Stern deck  
Achterdeck  
Pont de poupe

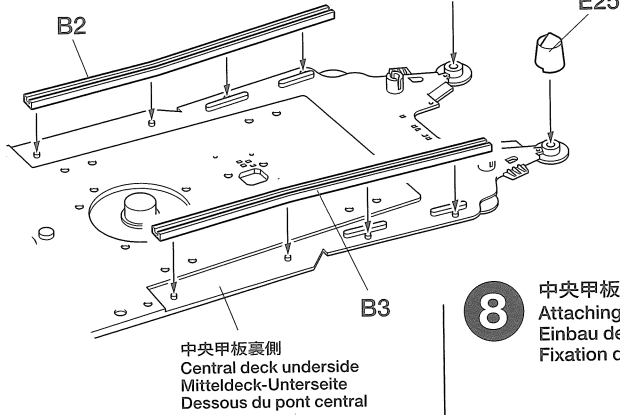


7

★甲板は接着剤が乾くまでセロハンテープなどで固定しておきます。  
 ★Secure deck with cellophane tape until cement has hardened.  
 ★Das Deck mit Tesafilm sichern, bis der Kleber fest geworden ist.  
 ★Maintenir le pont avec du ruban adhésif pendant le séchage de la colle.

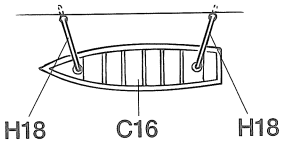
8

《ハンギングレールの取り付け》  
 Attaching rails  
 Einbau der Schienen  
 Fixation des rails



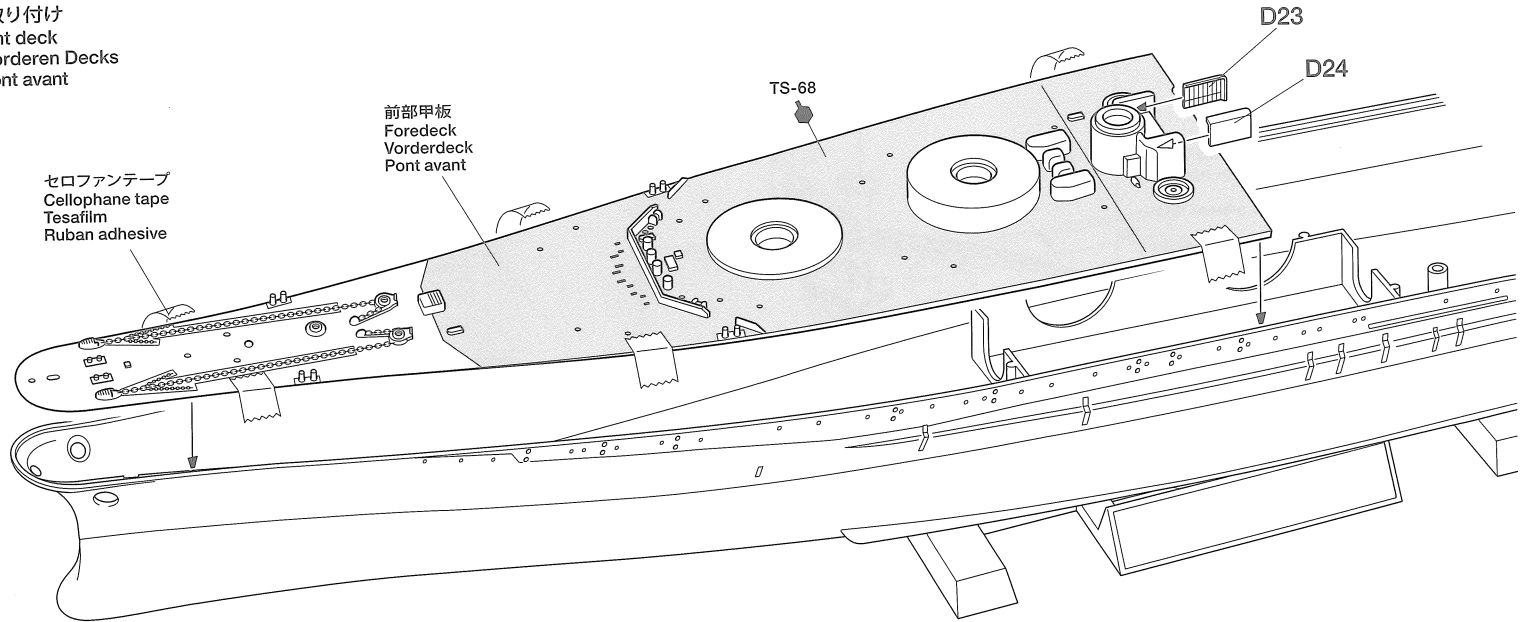
**注意!**  
 NOTICE  
 《カッター (C16) の取り付け》  
 Attaching cutter (C16)  
 Anbringung des Kutters (C16)  
 Fixation du canot (C16)

★キットにはカッターが6ヶ所取り付けられるようになっています。キットには実際に搭載されていた数と同じ4隻のカッターがセットされています。あらかじめ取り付け位置を決めておきます。  
 ★Model can carry up to 6 cutters. Kit includes 4 cutters.  
 ★Das Modell kann bis zu 6 Kutter mitführen. Der Bausatz enthält 4 Kutter.  
 ★Le modèle peut porter jusque 6 canots. Le kit inclut 4 canots.



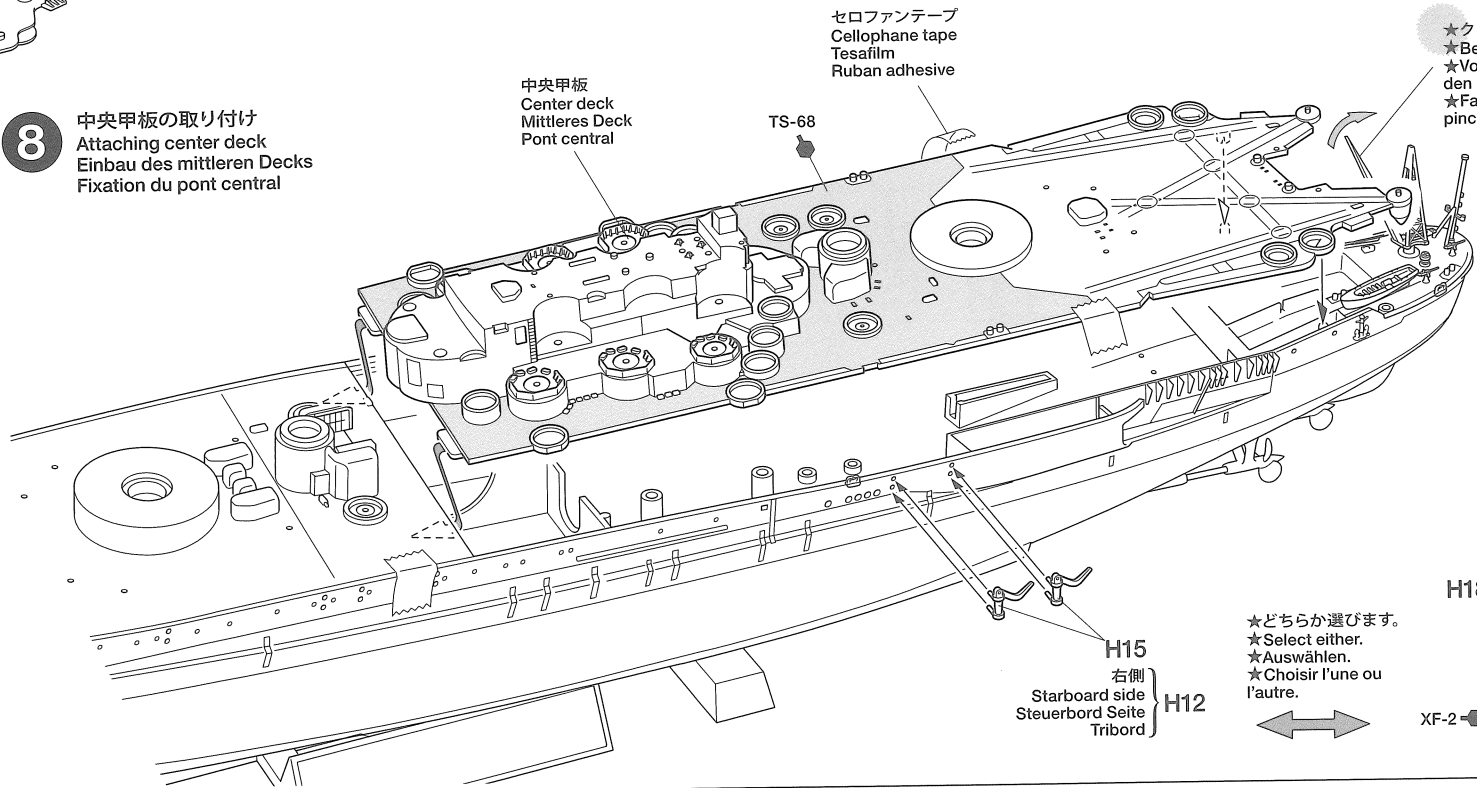
7

前部甲板の取り付け  
 Attaching front deck  
 Einbau des vorderen Decks  
 Fixation du pont avant

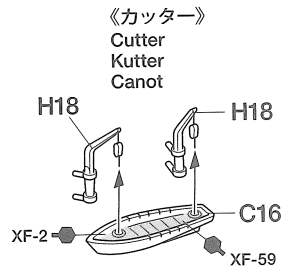


8

中央甲板の取り付け  
 Attaching center deck  
 Einbau des mittleren Decks  
 Fixation du pont central



★クレーンを挟まないように注意。  
 ★Be careful not to pinch crane.  
 ★Vorsicht! Klemmen Sie nicht den Kran ein!  
 ★Faire attention à ne pas se pincer le grue.

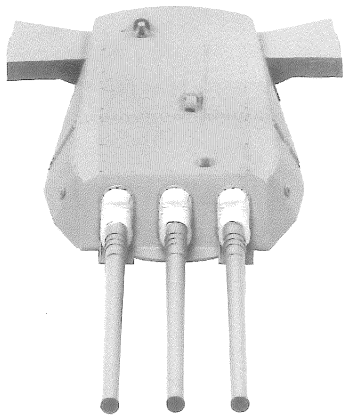


★どちらか選びます。  
 ★Select either.  
 ★Auswählen.  
 ★Choisir l'une ou l'autre.



9

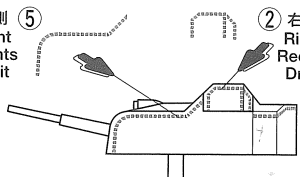
《46cm主砲》  
46cm turret  
46cm Turm  
Tourelle de 46cm



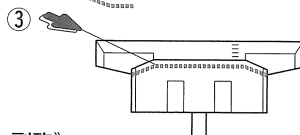
10

《副砲のマーキング》  
Marking of 15.5cm turret  
Verzierung des 15,5cm Turms  
Marquages de la tourelle de 15,5cm

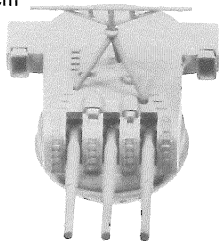
① 右側 ⑤  
Right Rechts  
Droit



② 右側 ④  
Right Rechts  
Droit



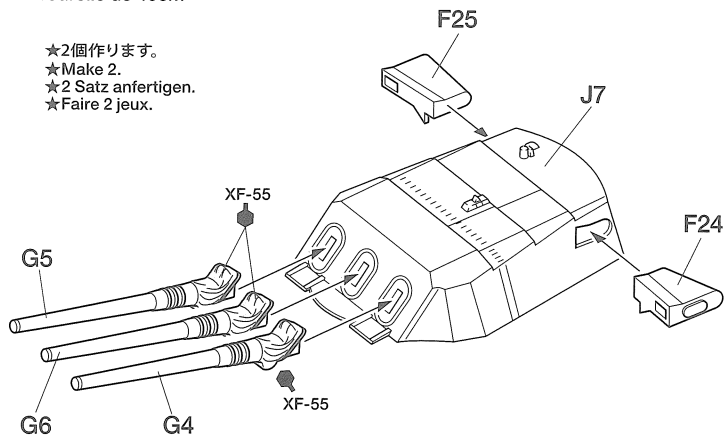
《15.5cm副砲》  
15.5cm turret  
15,5cm Turm  
Tourelle de 15,5cm



9

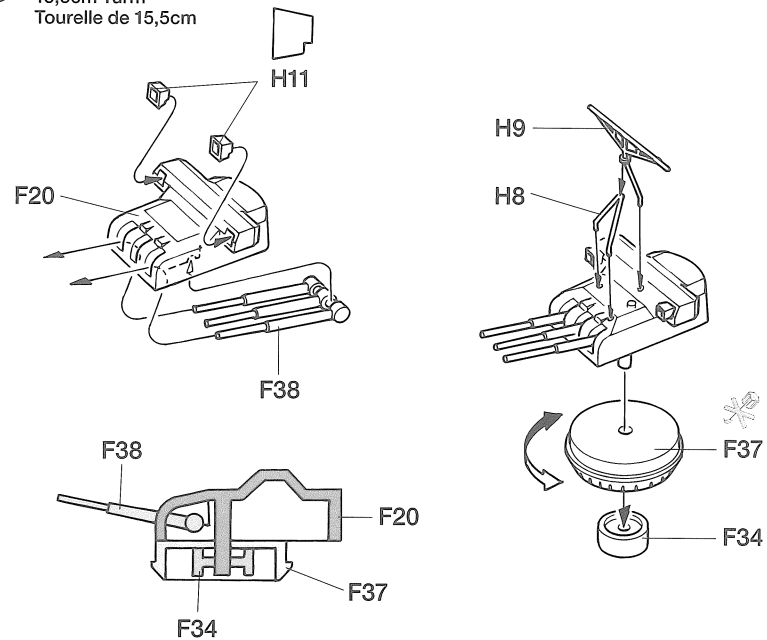
46cm主砲の組み立て  
46cm turret  
46cm Turm  
Tourelle de 46cm

★2個作ります。  
★Make 2.  
★2 Satz anfertigen.  
★Faire 2 jeux.



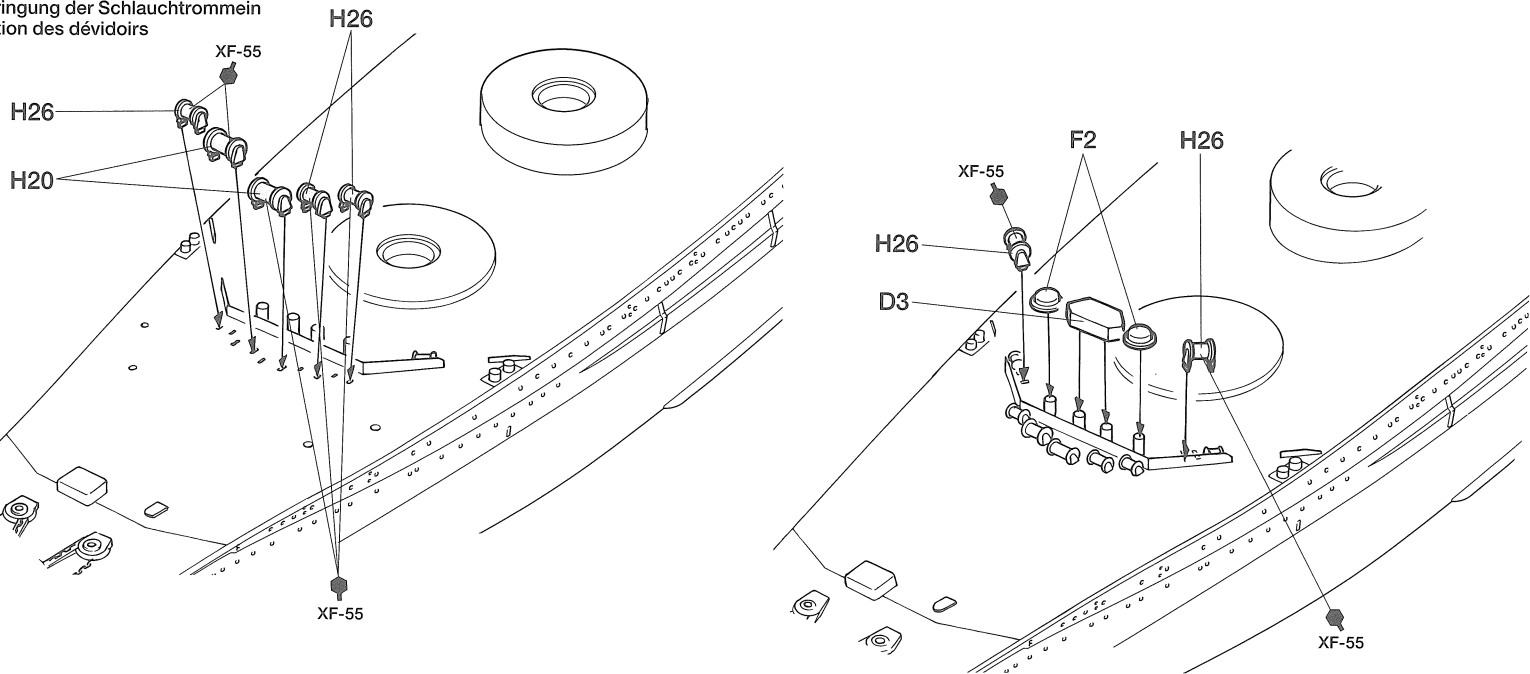
10

15.5cm副砲の組み立て  
15.5cm turret  
15,5cm Turm  
Tourelle de 15,5cm

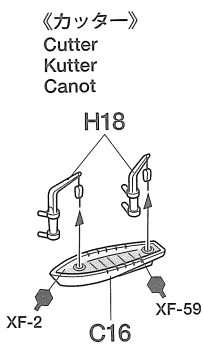
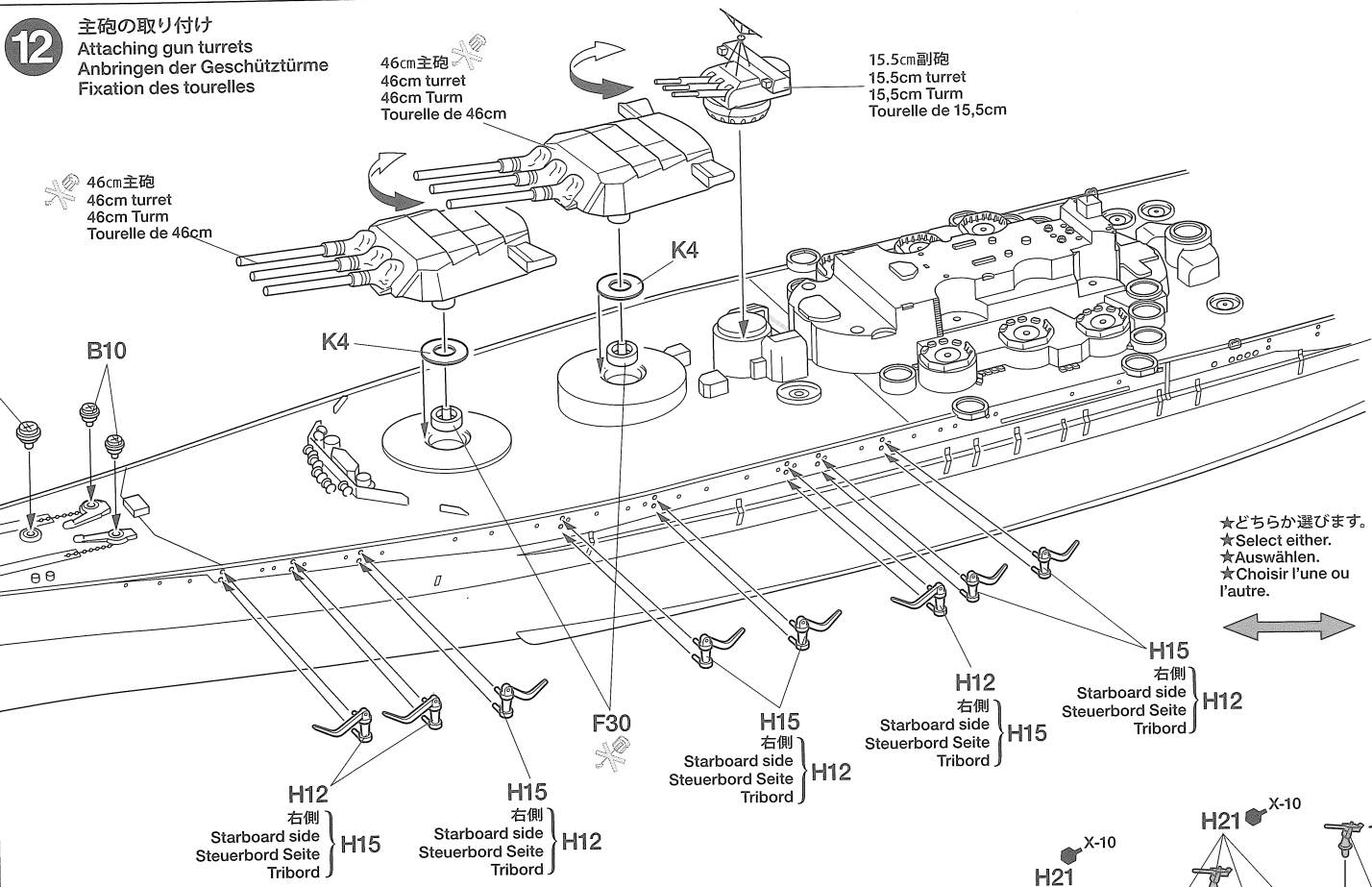


11

リールの取り付け  
Attaching reels  
Anbringung reils der Schlauchtrommel  
Fixation des dévidoirs

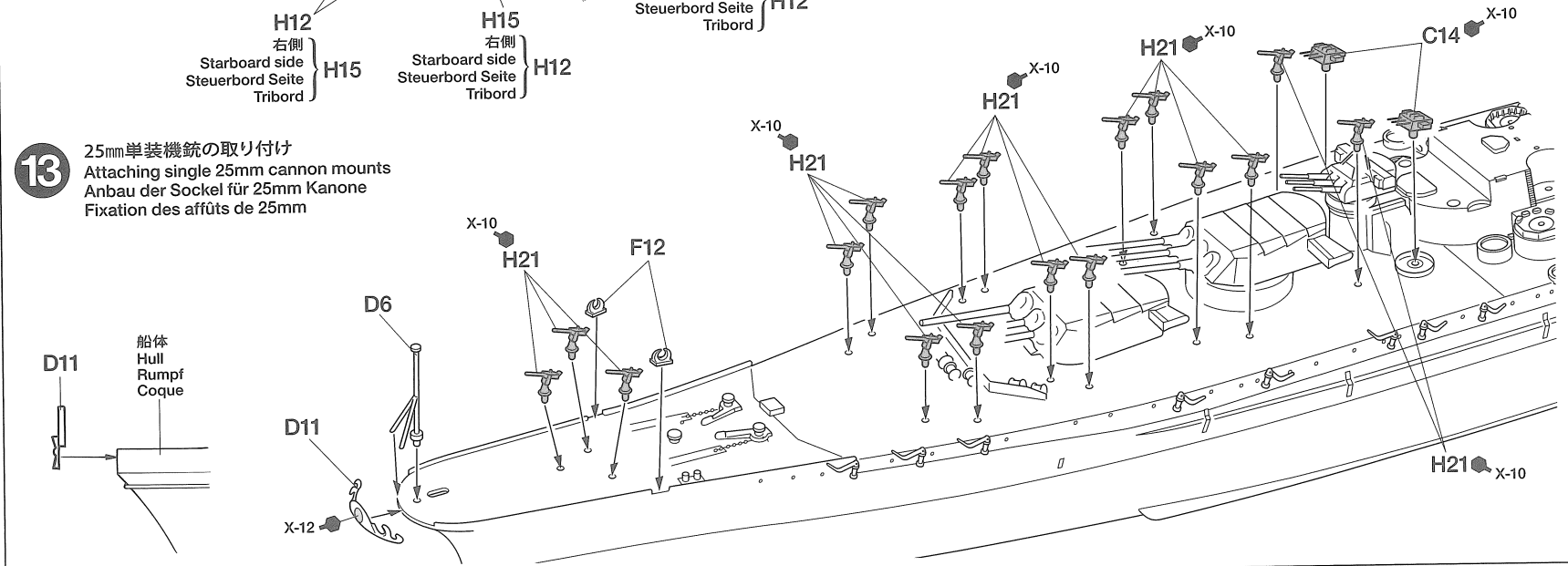


**12** 主砲の取り付け  
Attaching gun turrets  
Anbringen der Geschütztürme  
Fixation des tourelles



★どちらか選びます。  
★Select either.  
★Auswählen.  
★Choisir l'une ou l'autre.

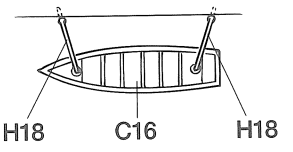
**13** 25mm単装機銃の取り付け  
Attaching single 25mm cannon mounts  
Anbau der Sockel für 25mm Kanone  
Fixation des affûts de 25mm



**注意!**  
NOTICE

《カッター (C16) の取り付け》  
Attaching cutter (C16)  
Anbringung des Kutters (C16)  
Fixation du canot (C16)

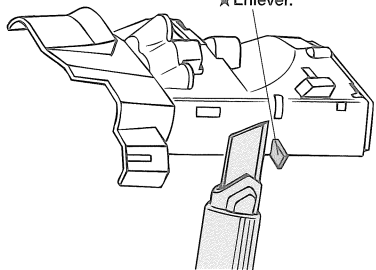
★キットにはカッターが6ヶ所取り付けられるようになっています。キットには実際に搭載されていた数と同じ4隻のカッターがセットされています。あらかじめ取り付け位置を決めておきます。  
★Model can carry up to 6 cutters. Kit includes 4 cutters.  
★Das Modell kann bis zu 6 Kutter mitführen. Der Bausatz enthält 4 Kutter.  
★Le modèle peut porter jusque 6 canots. Le kit inclut 4 canots.





《E32》

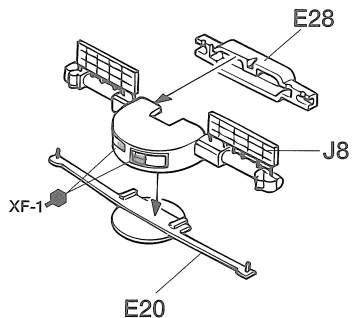
★切り取ります。  
★Remove.  
★Entfernen.  
★Enlever.



14

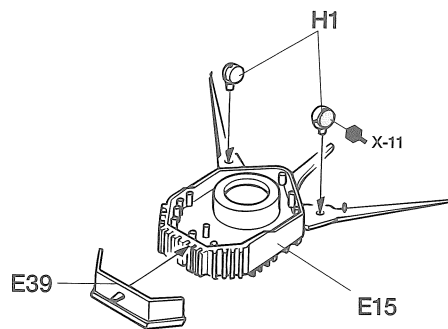
艦橋部品の組み立て  
Bridge parts  
Brücken-Teile  
Equipements de la superstructure

《15m測距儀》  
15m rangefinder  
15m Entfernungsmesser  
Télémetre 15m



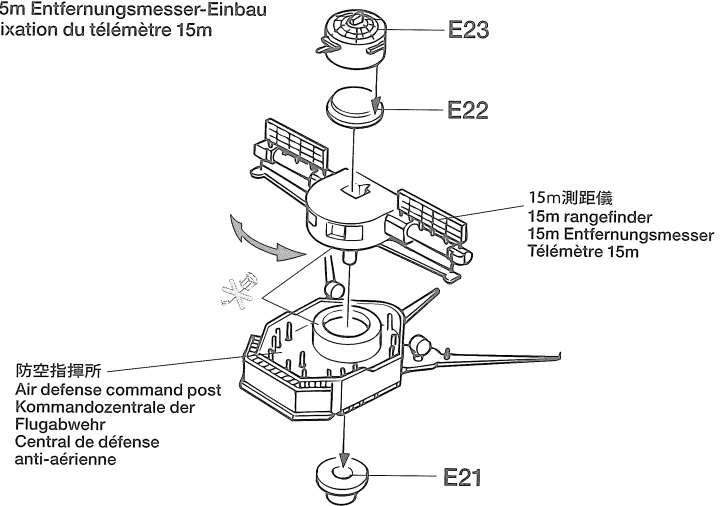
《防空指揮所》

Air defense command post  
Kommandozentrale der Flugabwehr  
Central de défense anti-aérienne



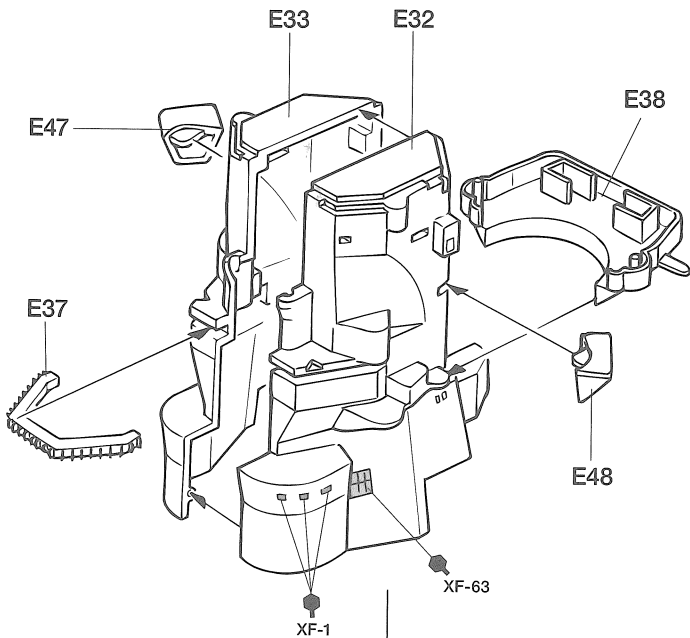
15

15m測距儀の取り付け  
Attaching 15m rangefinder  
15m Entfernungsmesser-Einbau  
Fixation du télémètre 15m



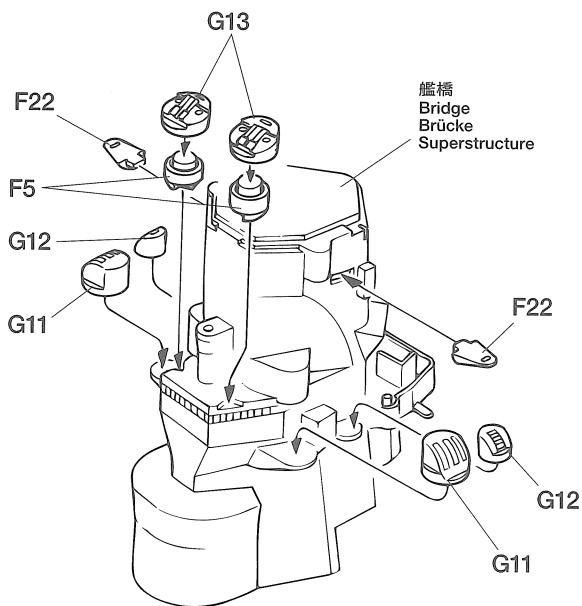
16

艦橋の組み立て  
Bridge  
Brücke  
Superstructure



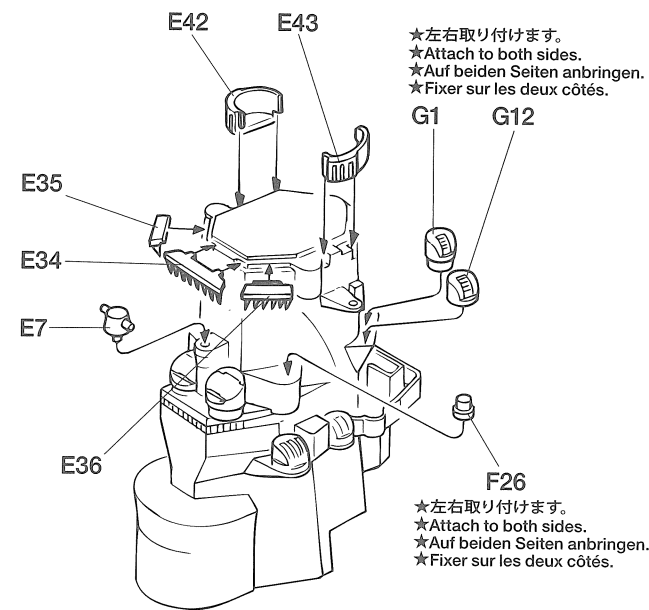
17

機銃射撃装置の取り付け  
Attaching gun directors  
Befestigung der Kanonen-Leiteinrichtung  
Fixation des pointeurs de canons

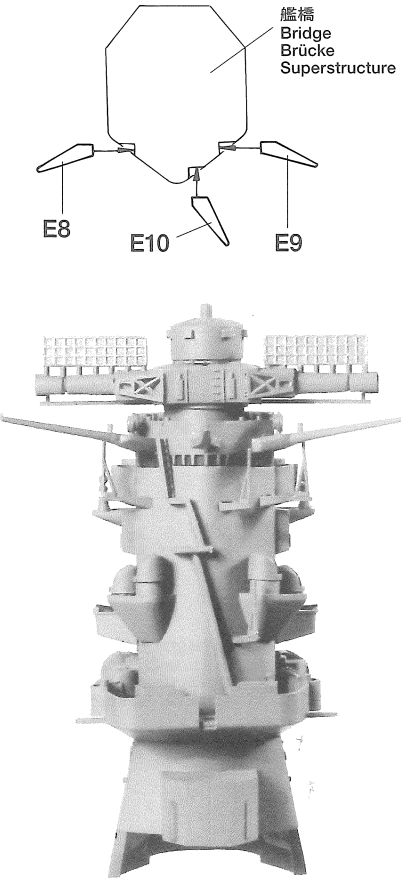


18

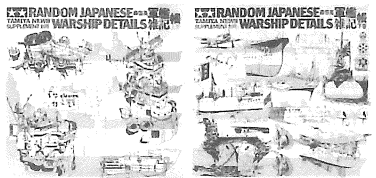
遮風板の取り付け  
Attaching wind deflector panels  
Anbringung der Windabweiser-Platten  
Fixation des panneaux pare-vent



《E8、E9、E10の取り付け》  
Attaching E8, E9 and E10  
Anbringung von E8, E9 und E10  
Fixation de E8, E9 et E10

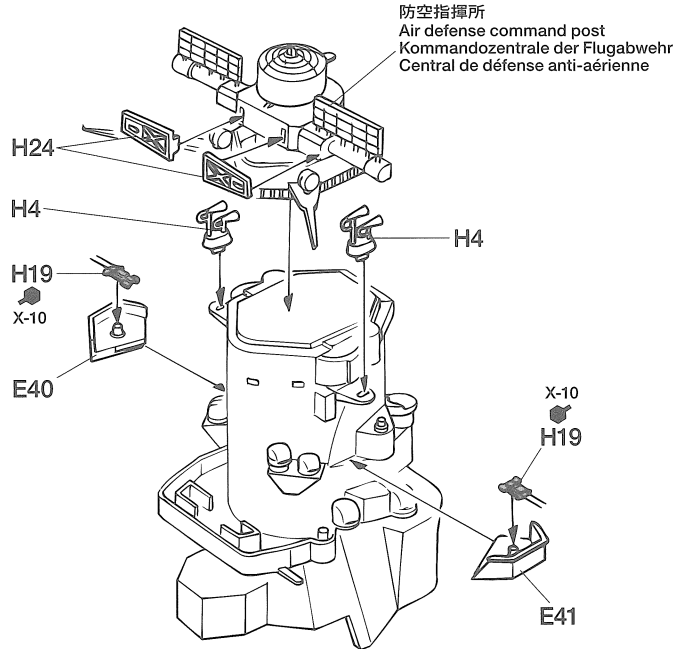


軍艦雑記帳・上巻 軍艦雑記帳・下巻

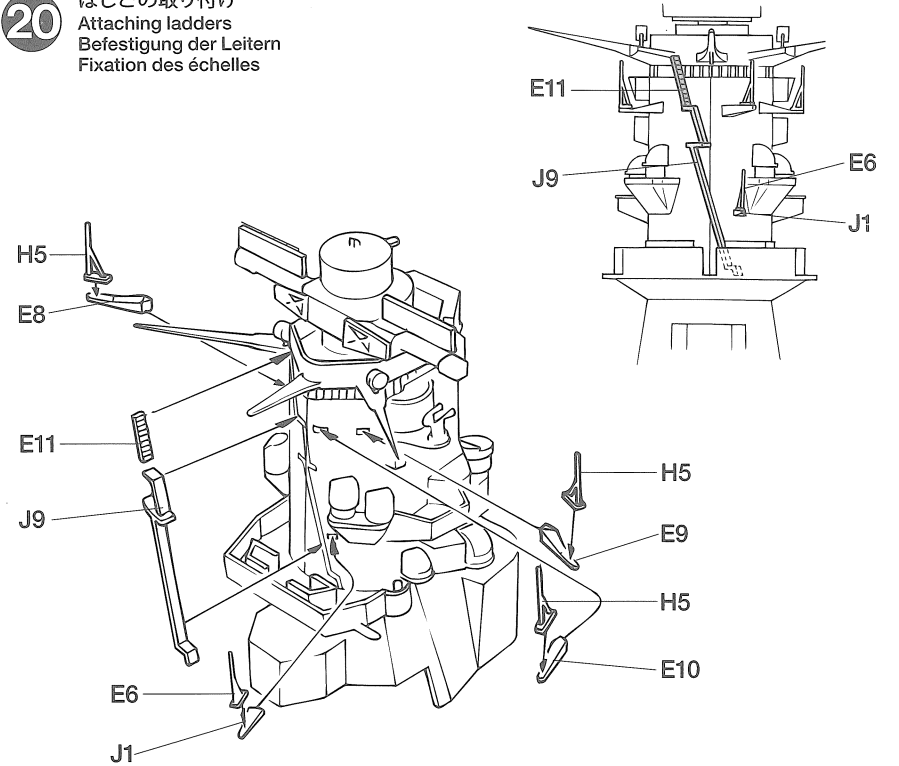


日本戦艦の構造を多数の図とあわせて詳しく解説。  
上巻では艦橋や火炮、魚雷など、下巻では船体や甲板、艦載艇など、それぞれ8章で構成。軍艦模型作りの貴重な資料です。お求めはお近くの模型店で、または当社カスタマーサービスへお問い合わせください。

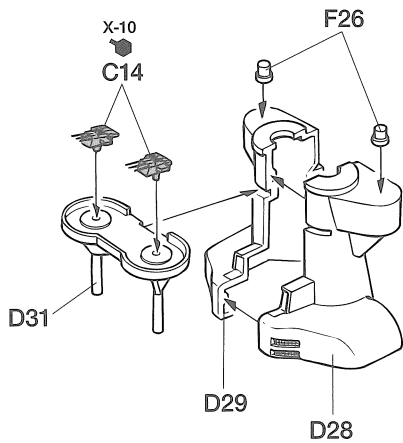
防空指揮所の取り付け  
Attaching air defense command post  
Einbau der Kommandozentrale der Flugabwehr  
Fixation du central de défense anti-aérienne



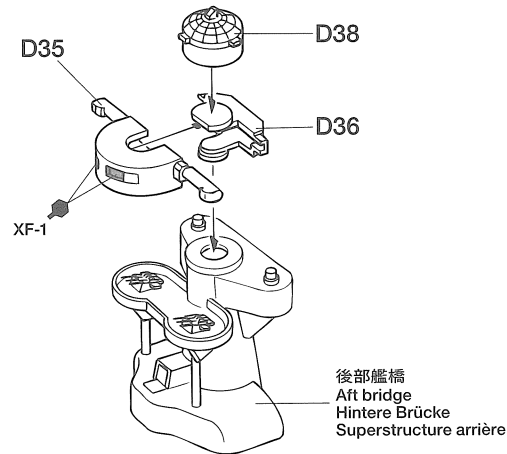
はしごの取り付け  
Attaching ladders  
Befestigung der Leitern  
Fixation des échelles



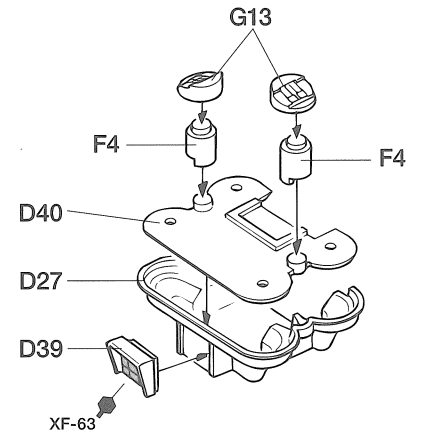
後部艦橋の組み立て  
Aft bridge  
Hintere Brücke  
Superstructure arrière



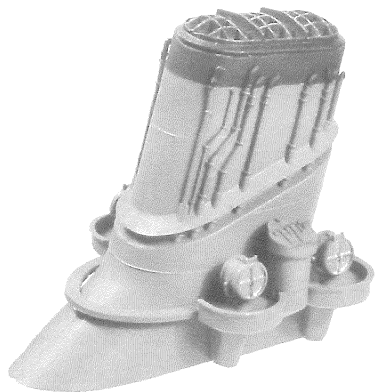
10m測距儀の取り付け  
Attaching 10m rangefinder  
10m Entfernungsmesser-Einbau  
Fixation du télémètre 10m



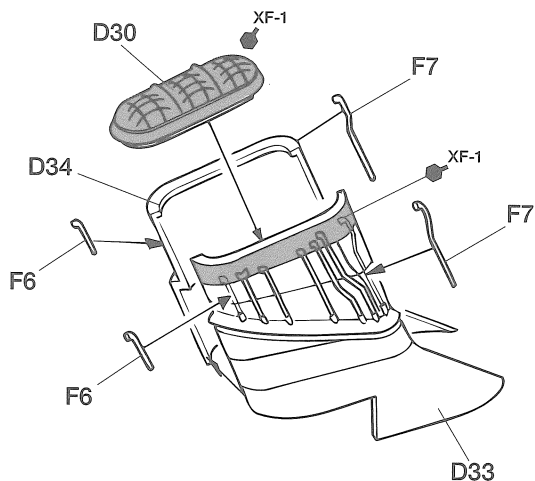
探照灯甲板の組み立て  
Searchlight deck  
Suchscheinwerfer-Deck  
Pont des phares de recherche







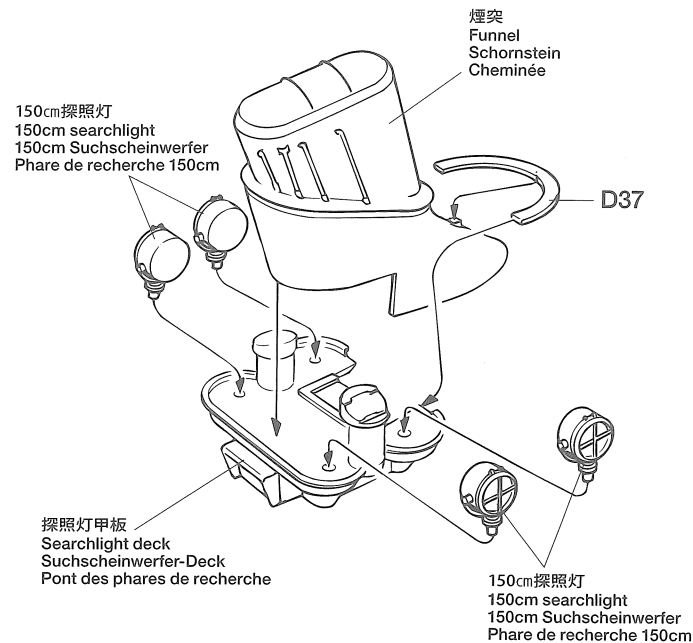
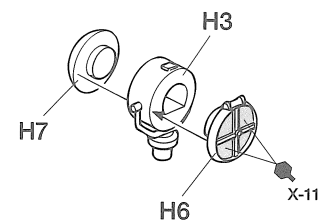
**24** 煙突の組み立て 1  
Funnel 1  
Schornstein 1  
Cheminée 1



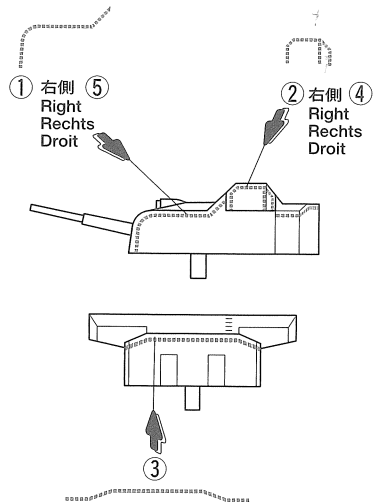
**25** 煙突の組み立て 2  
Funnel 2  
Schornstein 2  
Cheminée 2

《150cm探照灯》  
150cm searchlight  
150cm Suchscheinwerfer  
Phare de recherche 150cm

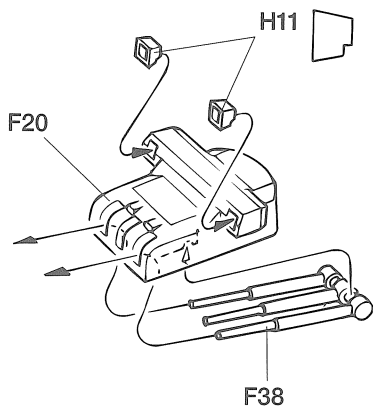
★4個作ります。  
★Make 4.  
★4 Satz anfertigen.  
★Faire 4 jeux.



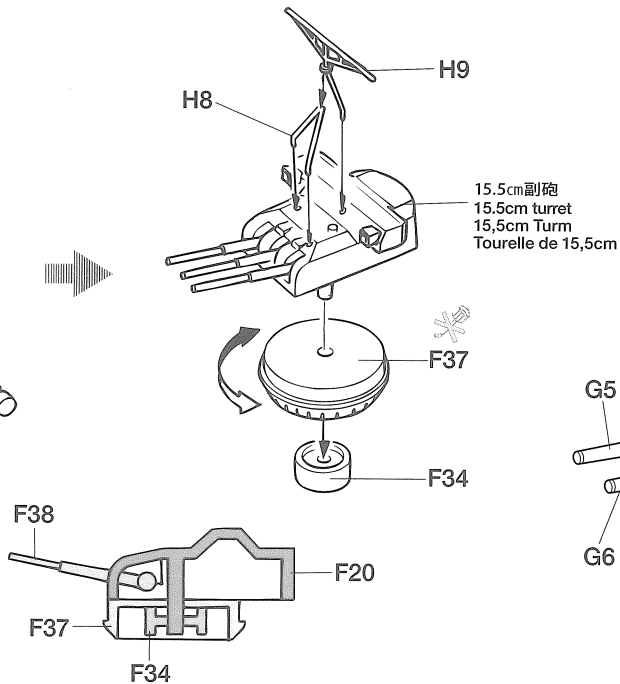
《副砲のマーキング》  
Marking of 15.5cm turret  
Verzierung des 15,5cm Turms  
Marquages de la tourelle de 15,5cm



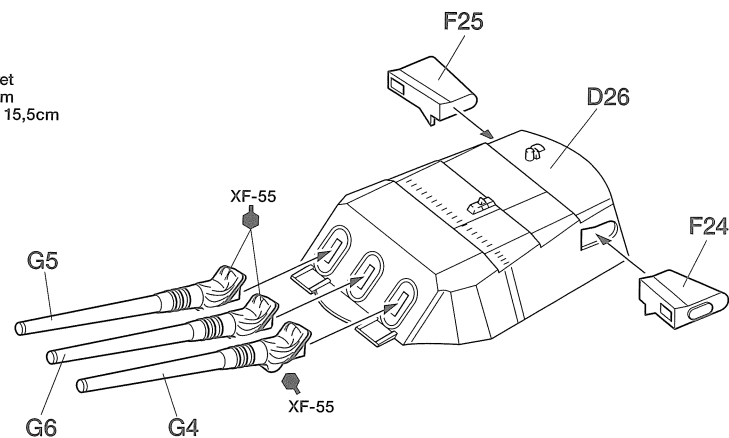
**26** 15.5cm副砲の組み立て  
15.5cm turret  
15,5cm Turm  
Tourelle de 15,5cm



《副砲の組み立て》  
15.5cm turret assembly  
Zusammenbau des 15,5cm Turms  
Assemblage de la tourelle de 15,5cm

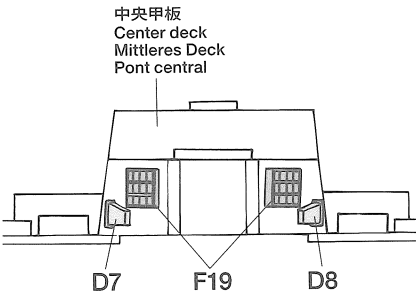


**27** 46cm主砲の組み立て  
46cm turrets  
46cm Türme  
Tourelles de 46cm

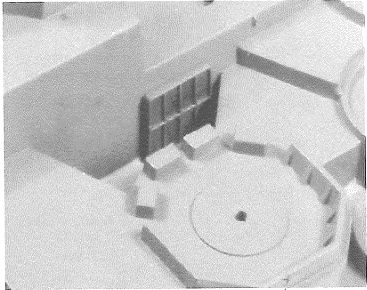


28

《F19、D8、D7の取り付け》  
Attaching F19, D7 and D8  
Anbringung von F19, D7 und D8  
Fixation des F19, D7 et D8

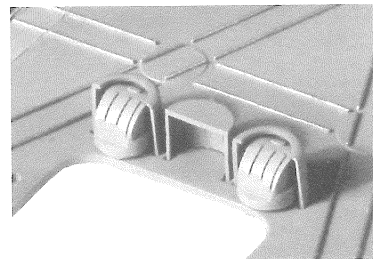


《F27の取り付け》  
Attaching F27  
Anbringung von F27  
Fixation de F27



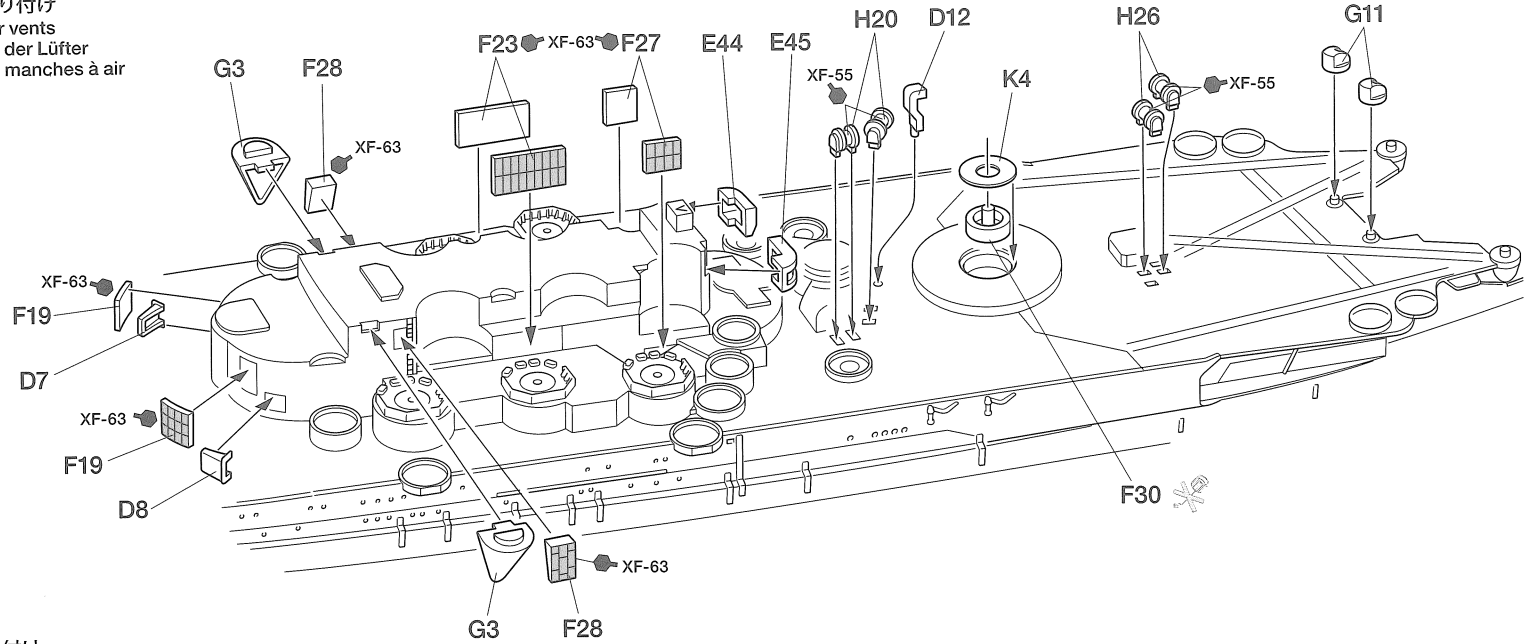
29

《F18、D16の取り付け》  
Attaching D16 and F18  
Anbringung von D16 und F18  
Fixation de D16 et F18



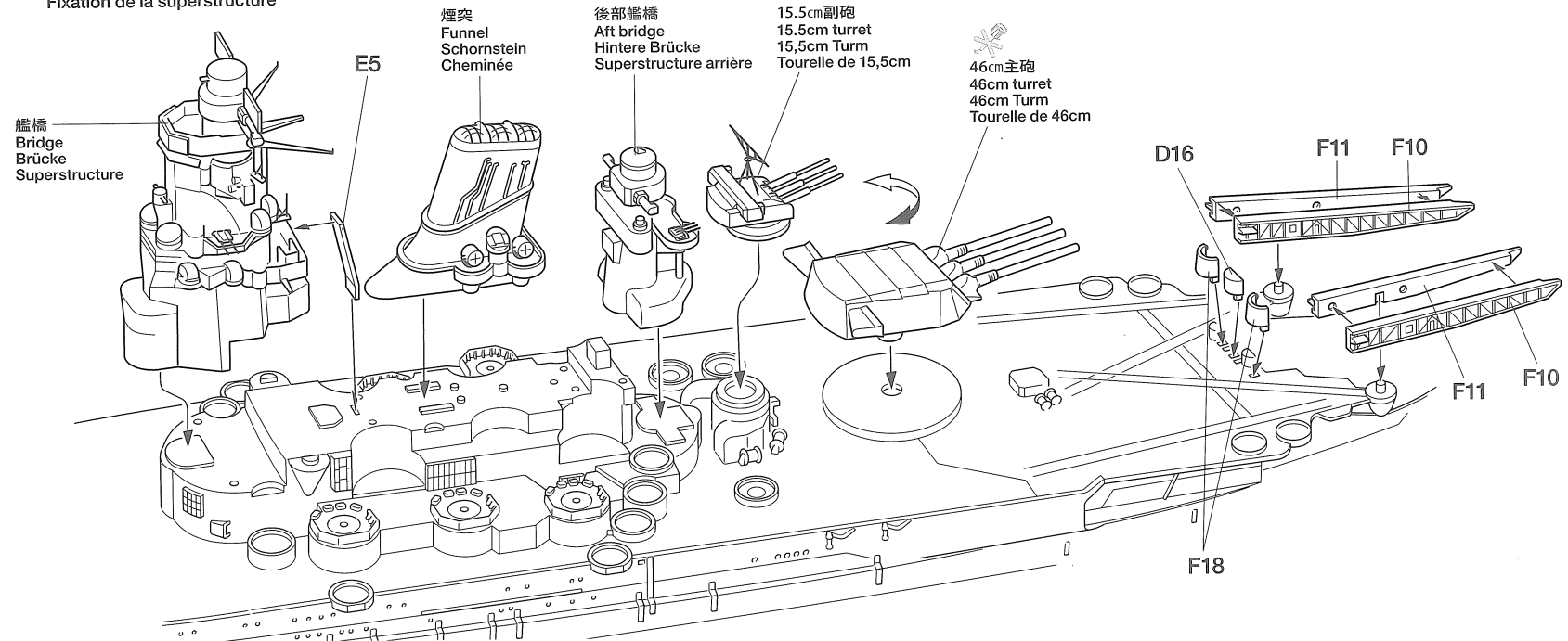
28

吸気口の取り付け  
Attaching air vents  
Befestigung der Lüfter  
Fixation des manches à air



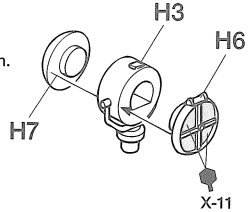
29

艦橋の取り付け  
Attaching bridge  
Brücken-Einbau  
Fixation de la superstructure



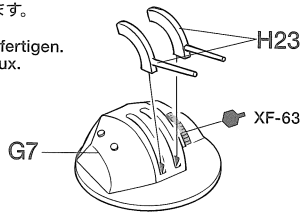
《150cm探照灯》  
150cm searchlight  
150cm Suchscheinwerfer  
Phare de recherche 150cm

★2個作ります。  
★Make 2.  
★2 Satz anfertigen.  
★Faire 2 jeux.



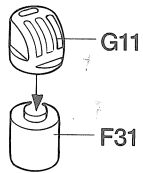
《12.7cm高角砲》  
12.7cm DP guns  
12.7cm Mehrzweckwaffen  
Canons DF 12,7cm

★6個作ります。  
★Make 6.  
★6 Satz anfertigen.  
★Faire 6 jeux.



《機銃射撃装置》  
Gun director  
Kanonen-Leiteinrichtung  
Pointeur de canon

★2個作ります。  
★Make 2.  
★2 Satz anfertigen.  
★Faire 2 jeux.



**TAMIYA COLOR**

タミヤカラー(スプレー式)

美しい塗装が手軽に楽しめるスプレータイプの塗料です。ミリタリーモデル用、カーモデル用、一般工作用がそろっています。

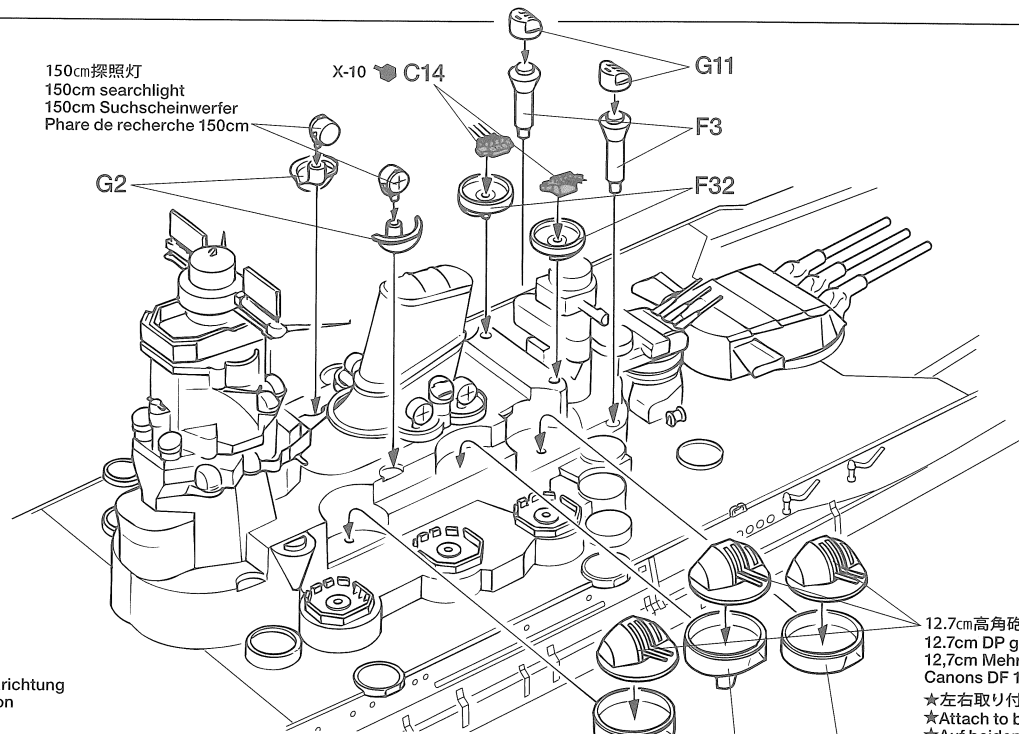
**TAMIYA COLOR**

タミヤカラー(エナメル塗料)

筆塗り塗装にぴったり。のびが良く筆ムラ、泡立ちもほとんどなし。つやの良さもエナメル塗料ならではの、もちろんスプレー塗装もOK。

高角砲の取り付け  
Attaching 12.7cm DP guns  
Einbau der 12,7cm Mehrzweckwaffen  
Fixation des Canons DF 12,7cm

150cm探照灯  
150cm searchlight  
150cm Suchscheinwerfer  
Phare de recherche 150cm

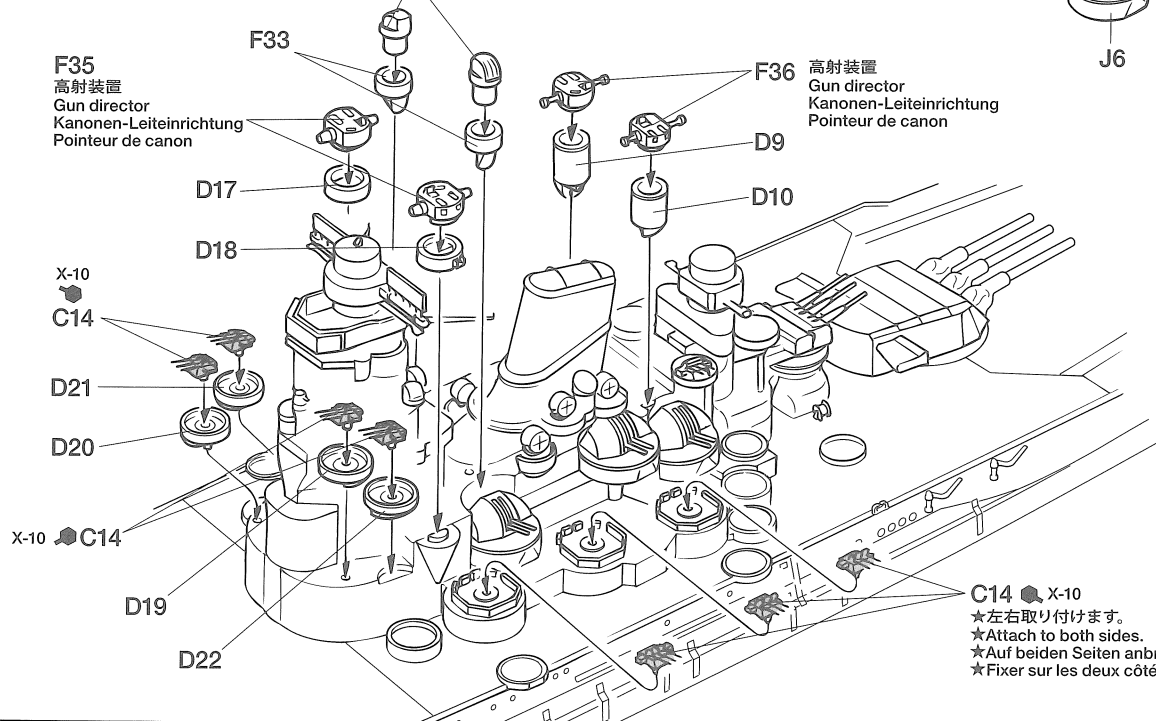


機銃の取り付け  
Attaching triple 25mm cannon mounts  
Anbau der Sockel für 25mm Drillinggeschütz  
Fixation des affûts triples de 25mm

機銃射撃装置  
Gun director  
Kanonen-Leiteinrichtung  
Pointeur de canon

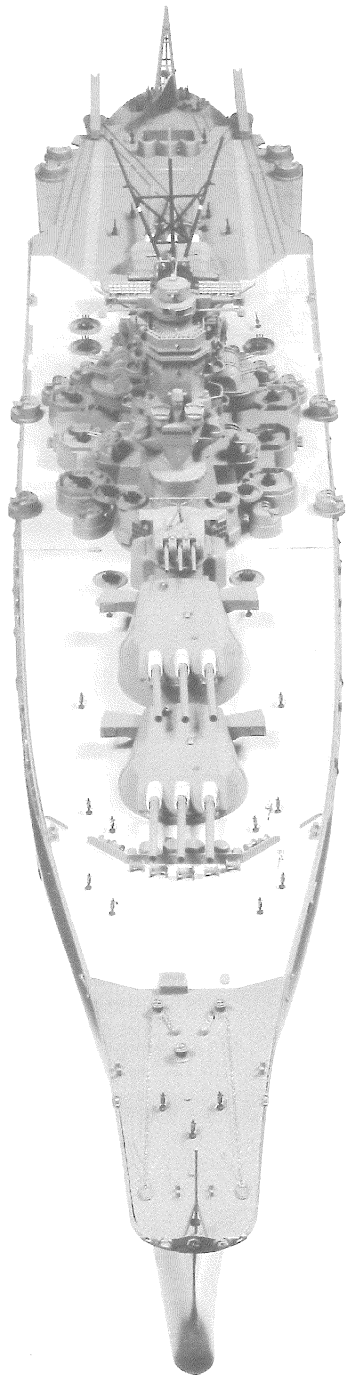
F35  
高射装置  
Gun director  
Kanonen-Leiteinrichtung  
Pointeur de canon

F36  
高射装置  
Gun director  
Kanonen-Leiteinrichtung  
Pointeur de canon



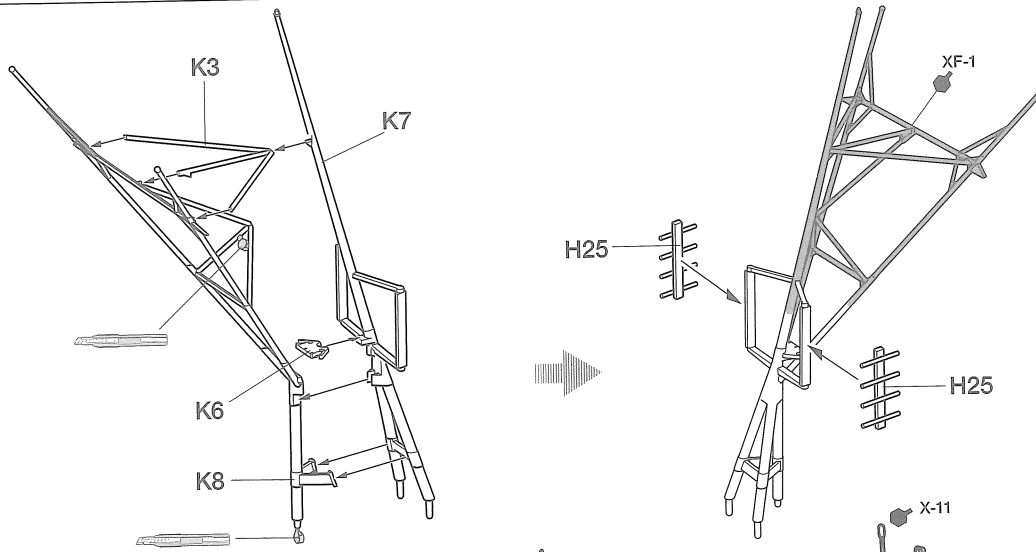
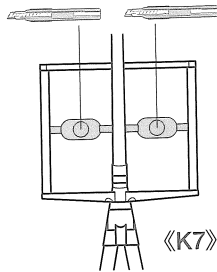
12.7cm高角砲  
12.7cm DP guns  
12.7cm Mehrzweckwaffen  
Canons DF 12,7cm  
★左右取り付けます。  
★Attach to both sides.  
★Auf beiden Seiten anbringen.  
★Fixer sur les deux côtés.

C14 X-10  
★左右取り付けます。  
★Attach to both sides.  
★Auf beiden Seiten anbringen.  
★Fixer sur les deux côtés.



**32** マストの組み立て  
Main mast  
Hauptmast  
Mât principal

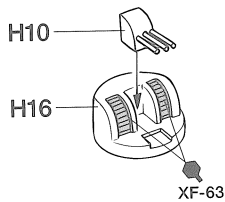
★K部品の接着には流し込み接着剤をお使いください。  
★Use Tamiya Extra Thin Cement for assembling K parts.  
★Für Zusammenbau des Teiles K Tamiya Extra Dünne Kleber verwenden.  
★Utiliser de la colle Tamiya extra-fluide pour assembler les pièces K.



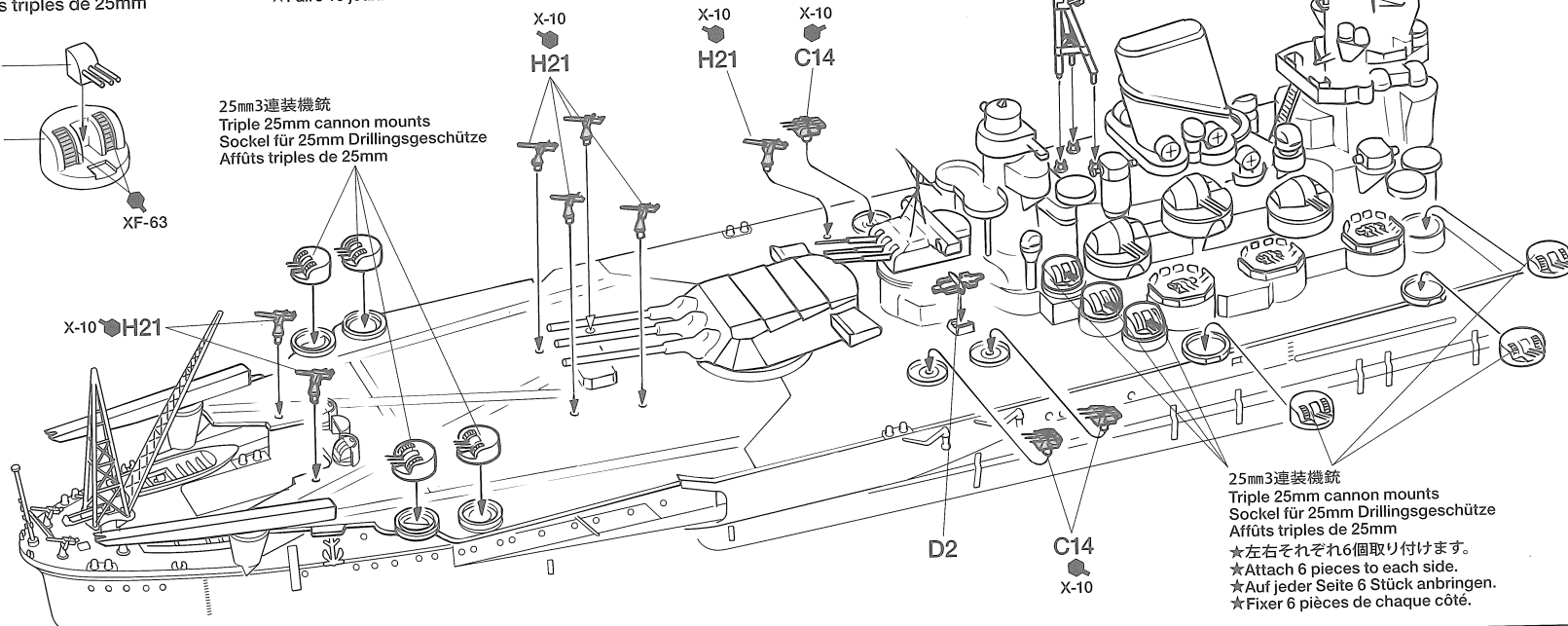
**33** 機銃の取り付け  
Attaching triple 25mm cannon mounts  
Anbau der Sockel für 25mm Drillingsgeschütze  
Fixation des affûts triples de 25mm

《25mm3連装機銃》  
Triple 25mm cannon mounts  
Sockel für 25mm Drillingsgeschütze  
Affûts triples de 25mm

★16個作ります。  
★Make 16.  
★16 Satz anfertigen.  
★Faire 16 jeux.



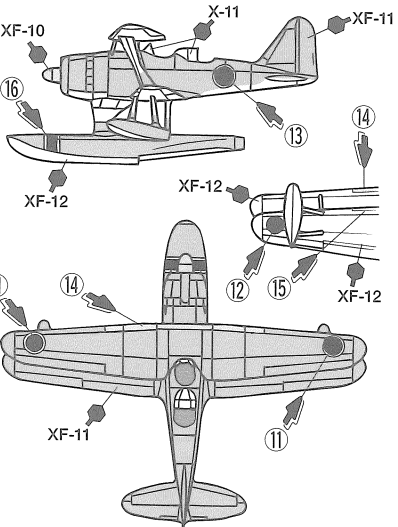
25mm3連装機銃  
Triple 25mm cannon mounts  
Sockel für 25mm Drillingsgeschütze  
Affûts triples de 25mm



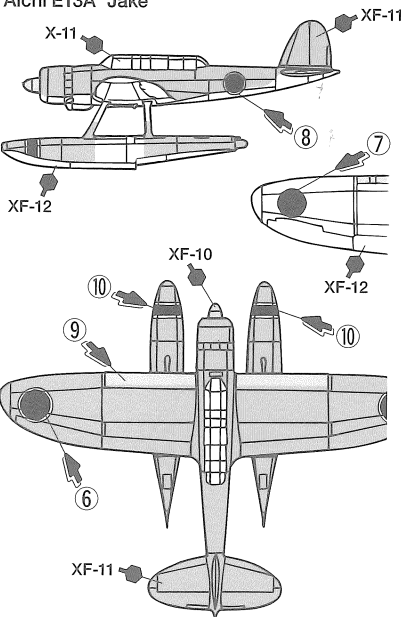


《艦載機の塗装とマーキング》  
Marking of planes  
Verzierung der Flugzeuge  
Marquages des avions

《零式水上観測機》  
Mitsubishi F1M "Pete"

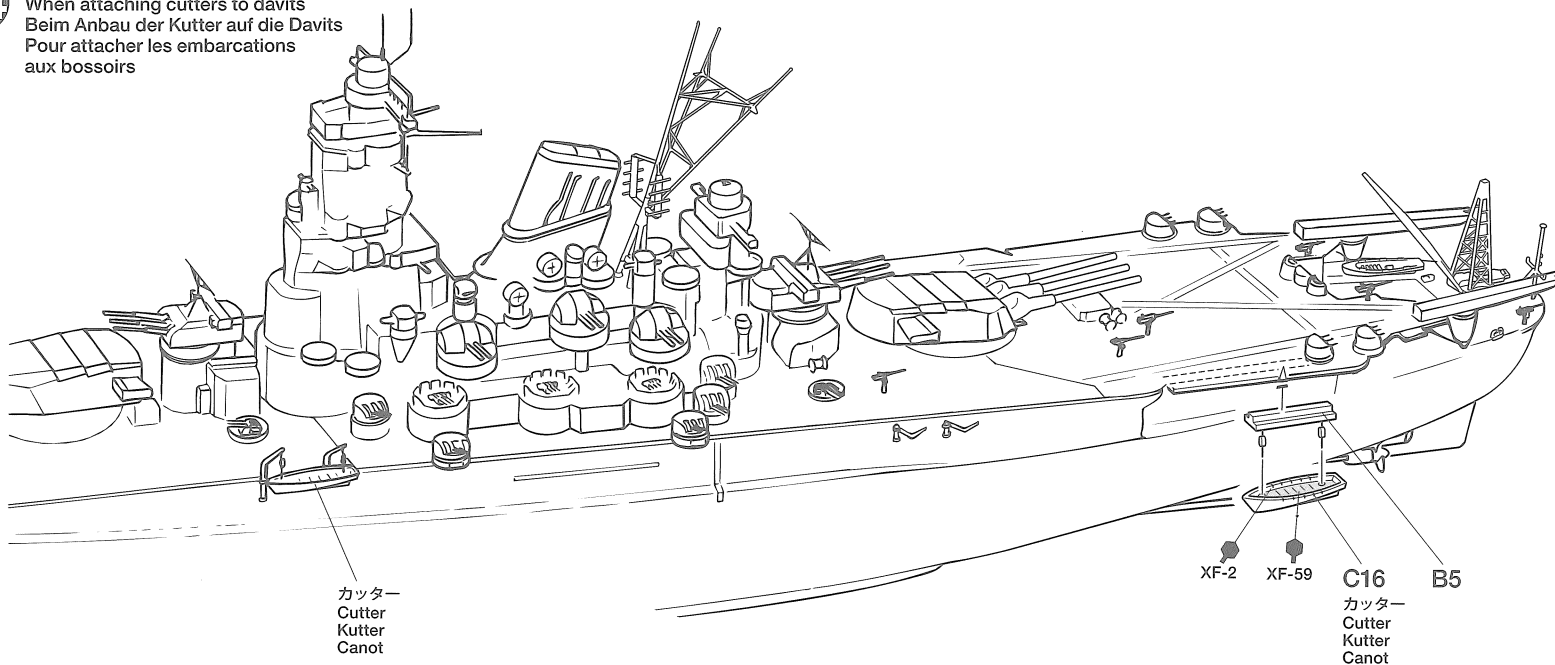


《零式水上偵察機》  
Aichi E13A "Jake"



34

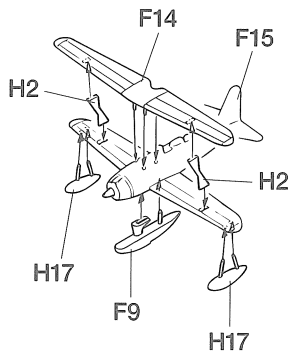
格納庫からカッターを出す場合  
When attaching cutters to davits  
Beim Anbau der Kutter auf die Davits  
Pour attacher les embarcations  
aux bossoirs



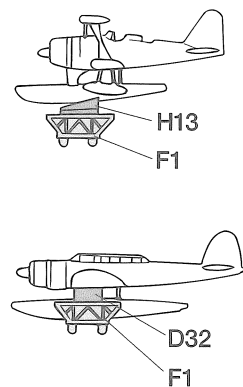
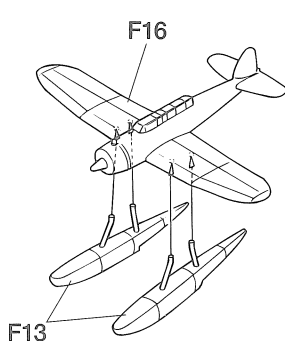
35

艦載機の組み立てと取り付け  
Attaching planes  
Befestigung der Flugzeuge  
Fixation des avions

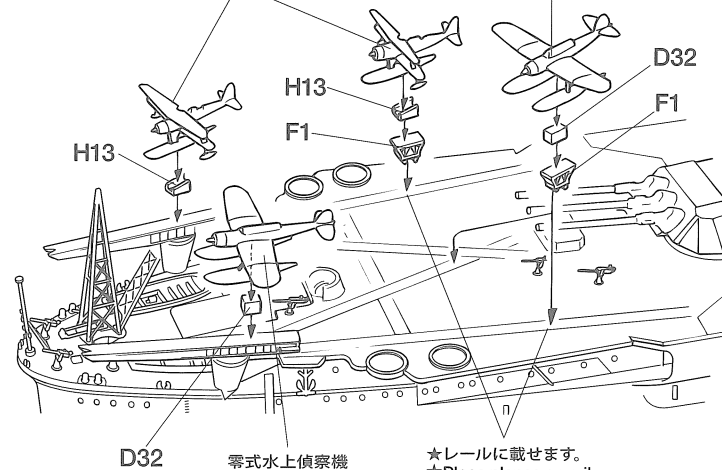
《零式水上観測機》  
Mitsubishi F1M "Pete"  
★2個作ります。  
★Make 2.  
★2 Satz anfertigen.  
★Faire 2 jeux.



《零式水上偵察機》  
Aichi E13A "Jake"  
★2個作ります。  
★Make 2.  
★2 Satz anfertigen.  
★Faire 2 jeux.



零式水上観測機  
Mitsubishi F1M "Pete"



零式水上偵察機  
Aichi E13A "Jake"

零式水上偵察機  
Aichi E13A "Jake"

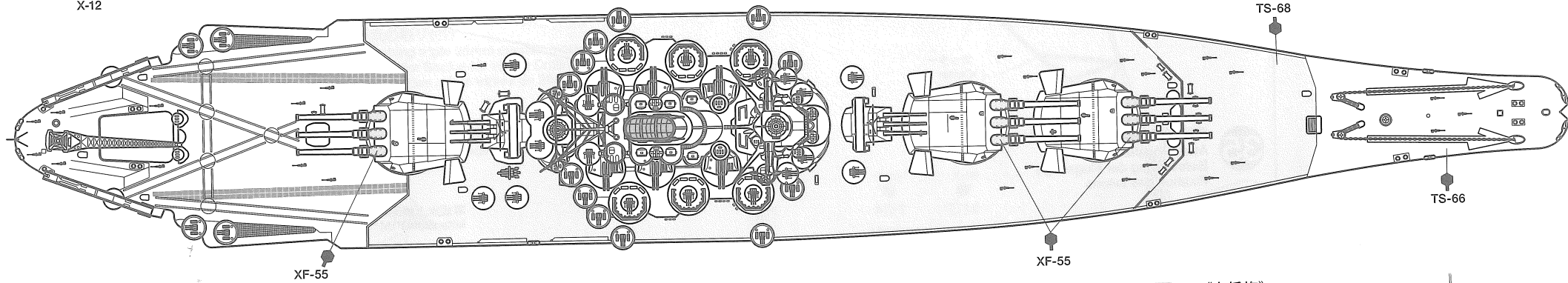
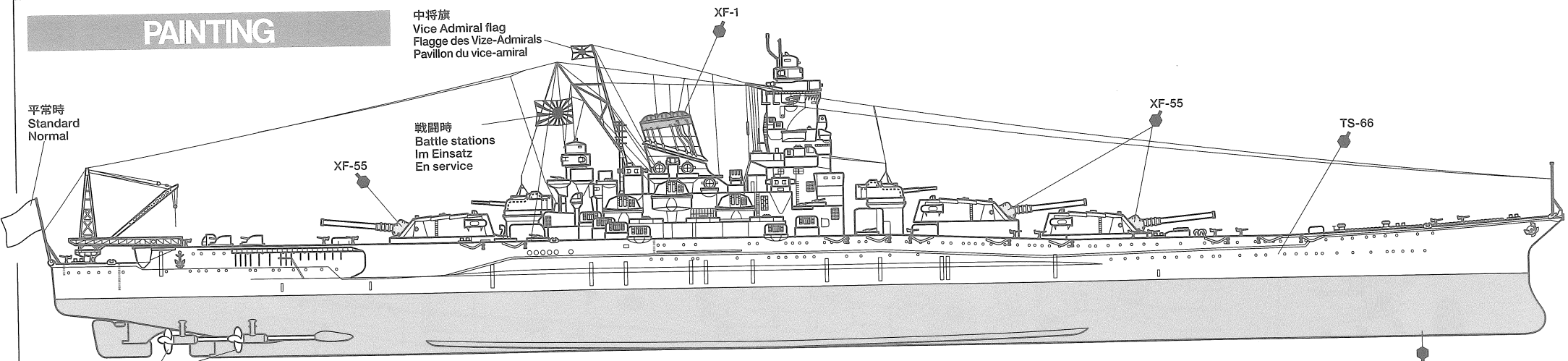
★レールに載せます。  
★Place planes on rails.  
★Die Wasserflugzeuge auf den  
Schienen anordnen.  
★Placer les hydravions sur les rails.

# PAINING

平常時  
Standard  
Normal

中将旗  
Vice Admiral flag  
Flagge des Vize-Admirals  
Pavillon du vice-amiral

戦闘時  
Battle stations  
Im Einsatz  
En service



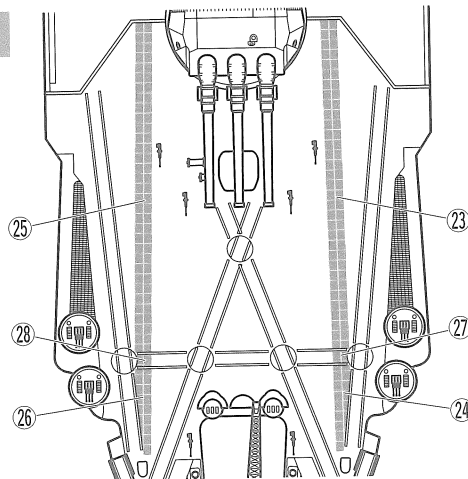
## 《歩行帯》 WALKWAY

《歩行帯》  
後部甲板に歩行帯ステッカーを貼ります。右図を参考にしてください。ステッカーはできるだけ余白を残さず、印刷された部分を切り抜いて貼ります。

**Walkway**  
Cut out walkway stickers and apply referring to the diagram on the right.

**Laufsteg**  
Die Aufkleber für die Laufstege ausschneiden und sie nach dem Diagramm auf der rechten Seite anbringen.

**Passage**  
Découper les stickers des passages et les apposer en se reportant au tableau à droite.



## 《旗》 FLAGS

《旗の取り付け》  
軍艦旗シートに印刷された旗をていねいに切りとり、2図面を参考にしてとりつけてください。また各旗は異なった状態のものが2種類ずつ入っています。好みの状態を選んでください。

**Attaching flags**  
A printed sheet with flags coming in choice of two shapes is included. Cut out and attach flags as shown in the illustration.

**Anbringung der Flaggen**  
Es ist ein Ausdruck der zur Wahl stehenden Flaggen in zwei Formen beigelegt. Schneiden Sie die Flaggen aus und bringen Sie diese wie abgebildet an.

**Fixation des drapeaux**  
Les drapeaux sont imprimés un feuillet. Le choix est proposé entre deux formes. Découper et fixer les drapeaux comme montré sur l'illustration.

《中将旗》  
Vice Admiral flag  
Flagge des Vize-Admirals  
Pavillon du vice-amiral

旗用ワイヤー ①または②  
or  
oder  
ou

★軍艦旗は平常時と戦闘時では旗の大きさととりつけ位置が異なります。

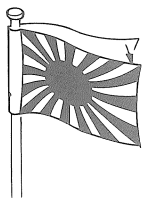
《軍艦旗》  
Ensign  
Nationalitäts-Flagge  
Enseigne

戦闘時 (旗用ワイヤー)  
Battle stations  
Im Einsatz  
En service

平常時 (後部旗用ポール)  
Standard  
Normal  
Normal


③または④  
or  
oder  
ou

⑤または⑥  
or  
oder  
ou



# PARTS

|  |  |  |
|--|--|--|
| 船体 .....×1<br>Hull 10117010<br>Rumpf<br>Coque                    | 中央甲板 .....×1<br>Center deck 19337096<br>Mittleres Deck<br>Pont central | 軍艦旗シート .....×1<br>Battle flag sheet 11407025<br>Fahnenblatt<br>Feuille de drapeaux           |
| 前部甲板 .....×1<br>Foredeck 19337096<br>Vorderes Deck<br>Pont avant | マーク .....×1<br>Decal 11407003<br>Abziehbild<br>Décalcomanie            | 歩行帯ステッカー .....×1<br>Walkway sticker 19497019<br>Aufkleber für Laufsteg<br>Sticker de passage |

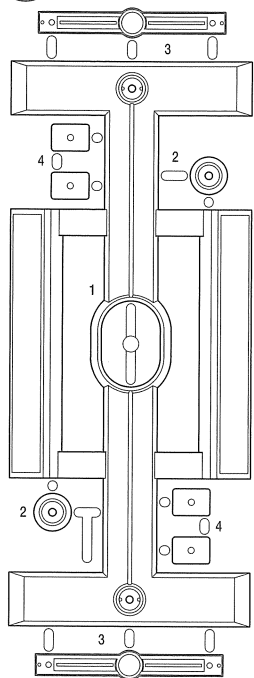
 2.6×18mmビス.....×2  
Screw 40123  
Schraube  
Vis

 2.6mmナット.....×2  
Nut 19808004  
Mutter  
Ecrou

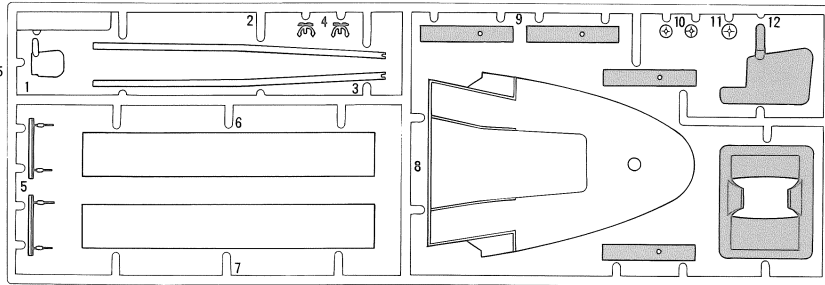
ポリキャップ.....×2  
Poly cap 10446168  
Kunststoff-Nabe  
Pièce de jonction

※ .....不要部品  
Not used.  
Nicht verwenden.  
Non utilisées.

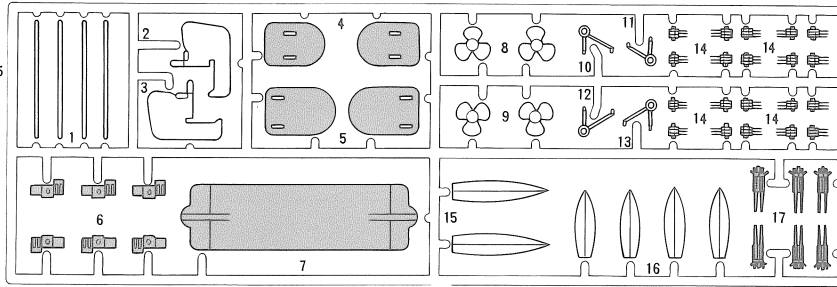
**BB** PARTS ×1  
19007216



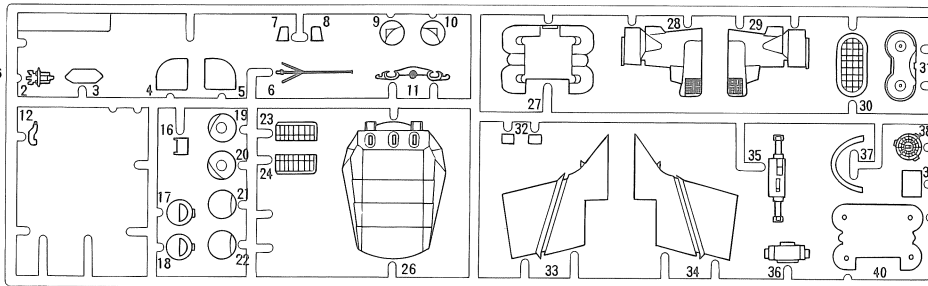
**B** PARTS ×1  
19007235  
※ ..... B9, B12, B13



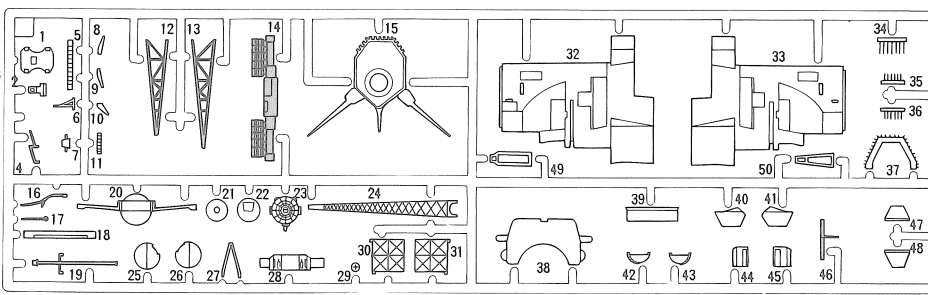
**C** PARTS ×1  
19007235  
※ ..... C4, C5, C6×6, C7, C14×1, C17×6



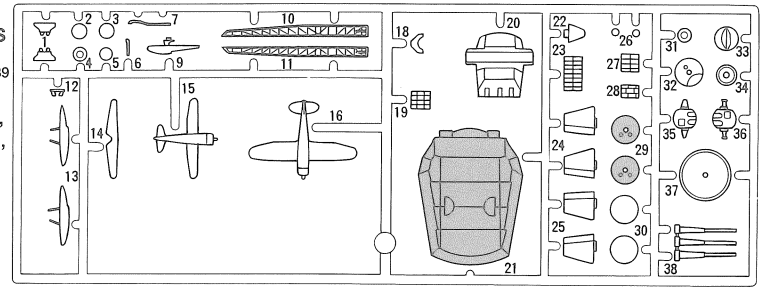
**D** PARTS ×1  
19007236



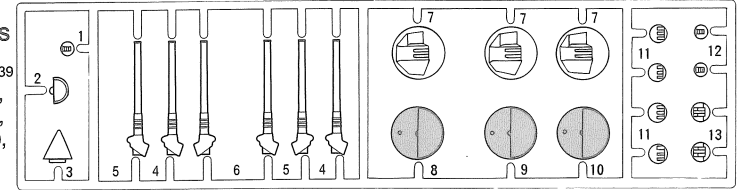
**E** PARTS ×1  
19007236  
※ ..... E4, E11, E12, E13, E14, E46



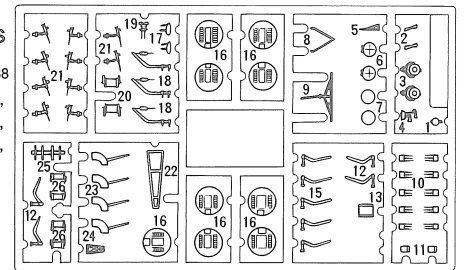
**F** PARTS ×2  
19007239  
※ ..... F21, F24×1, F25×1, F29×4, F30×1,



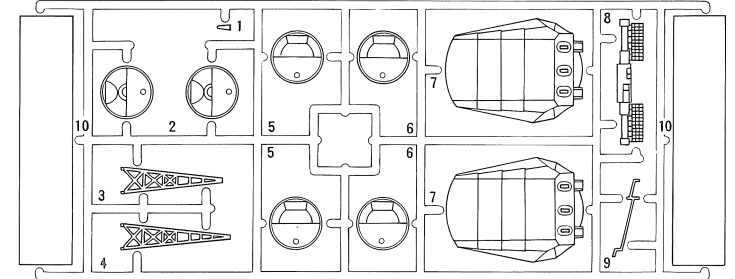
**G** PARTS ×2  
19007239  
※ ..... G4×1, G5×1, G6×1, G8, G9, G10, G11×2



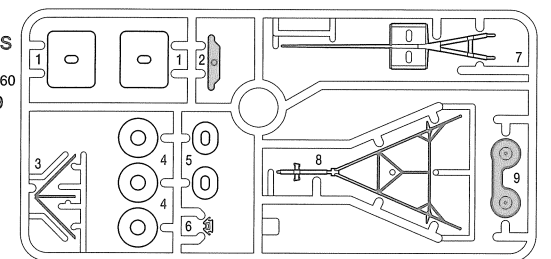
**H** PARTS ×3  
19007238  
※ ..... H1×1, H2×2, H4×1, H8×1, H9×1, H10×14, H11×2, H12×2, H13×1, H15×5, H16×11, H17×2, H18×1, H19×1, H20×2, H21×4, H22×2, H24×1, H25×1, H26×5



**J** PARTS ×1  
19117005



**K** PARTS ×1  
19117060  
※ ..... K2, K9



# JAPANESE BATTLESHIP MUSASHI

## APPLYING DECALS

《スライドマークのはり方》

- ①はりたいマークをハサミで切り抜きます。
- ②マークをぬるま湯に10秒ほどひたしてからタオル等の布の上に置きます。
- ③台紙のはしを手で持ち、はるところにマークをスライドさせてモデルに移してください。
- ④指に少し水をつけてマークをぬらしながら、正しい位置にずらしします。
- ⑤やわらかな布でマークの内側の気泡を押し出しながら、押しつけるようにして水分をとります。

### DECAL APPLICATION

- ①Cut off decal from sheet.
- ②Dip the decal in tepid water for about 10 sec. and place on a clean cloth.
- ③Hold the backing sheet edge and slide decal onto the model.
- ④Move decal into position by wetting decal with finger.
- ⑤Press decal down gently with a soft cloth until excess water and air bubbles are gone.

### ANBRINGUNG DES ABZIEHBILDES

- ①Abziehbild vom Blatt ausschneiden.
- ②Das Abziehbild ungefähr 10 Sek. in lauwarmes Wasser tauchen, dann auf sauberen Stoff legen.
- ③Die Kante der Unterlage halten und das Abziehbild auf das Modell schieben.
- ④Das Abziehbild an die richtige Stelle schieben und dabei mit dem Finger das Abziehbild naßmachen.
- ⑤Das Abziehbild leicht mit einem weichen Tuch andrücken, bis überschüssiges Wasser und Luftblasen entfernt sind.

### APPLICATION DES DECALCOMANIES

- ①Découpez la décalcomanie de sa feuille.
- ②Plongez la décalcomanie dans de l'eau tiède pendant 10 secondes environ et poser sur un linge propre.
- ③Retenez la feuille de protection par le côté et glissez la décalcomanie sur le modèle réduit.
- ④Placez la décalcomanie à l'endroit voulu en la mouillant avec un de vos doigts.
- ⑤Pressez doucement la décalcomanie avec un tissu doux jusqu'à ce que l'eau en excès et les bulles aient disparu.

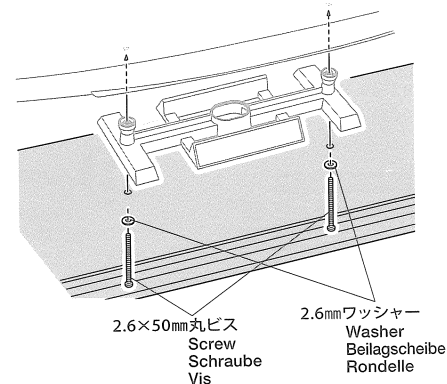
## 《木製台座の加工》 WOODEN BASE

●オプションの木製台座に展示する場合は下図の位置に3mm穴を開けてください。また、付属のビスを使えばディスプレイスタンドと共に船体を固定することが出来ます。

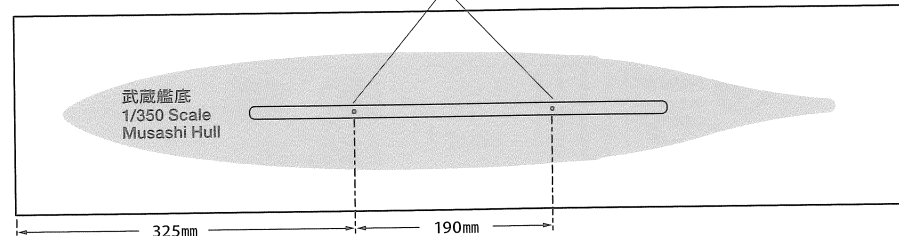
●When using the separately available wooden base (Item 73019) to display, make 3mm holes at the shown locations. The kit-included display stand may also be attached with the screws which come with the wooden base.

●Wenn der separate erhältliche Ausstellungsständer aus Holz (Nr 73019) verwendet wird bitte 3mm Bohrungen an den gezeigten Stellen anbringen. Mit den Schrauben, welche beim Holzständer (NR 73019) mitgeliefert werden kann auch der Bausatzständer befestigt werden.

●Si on utilise la base de présentation en bois disponible séparément (réf.73019), percer des trous de 3mm aux endroits indiqués. Le ber de présentation inclus dans le kit peut également être fixé avec les vis fournies avec la base en bois.



- ★3mmの穴を開けます。
- ★Open 3mm holes.
- ★3mm Löcher bohren.
- ★Percer des trous de 3mm.



- ★船首方向
- ★Bow
- ★Bug
- ★Proue

## タミヤカスタマーサービス取次店



## 部品請求について

For use in Japan only!

★部品をなくしたり、こわした方は、このステッカーがはられたカスタマーサービス取次店でご注文いただけます。また、当社カスタマーサービスに直接ご注文する場合は、右記の方法でご注文することができます。詳しくは当社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

### ①《郵便振替のご利用法》

郵便局の払込用紙の通信欄に下のリストを参考にITEM番号、スケール、製品名、部品名、部品コード、数量を必ずご記入ください。振込人住所欄にはお電話番号もお書きいただき、口座番号・00810-9-1118、加入者名・(株)タミヤでお振ください。

### ②《代金引換のご利用法》

パーツ代金に加えて代引き手数料 (315円) をご負担いただければ、電話またはホームページより代金引換によるご注文をお受けいたします。

### ③《タミヤカードのご利用法》

タミヤカードをご利用の場合、代金はご指定金融機関の口座引き落としとなります。ご注文は電話またはホームページよりお受けいたします。

## 日本海軍戦艦 武蔵

## ITEM 78031

★価格は2013年3月現在のものです。予告なく変更となる場合があります。

| 部品名                   | 税込価格            | 本体価格 | 送料 | 部品コード    |
|-----------------------|-----------------|------|----|----------|
| 船体                    | 1,911円 (1,820円) | -    | -  | 10117010 |
| 甲板(前部、中央)             | 1,071円 (1,020円) | -    | -  | 19337096 |
| BBパーツ                 | 558円 (560円)     | -    | -  | 19007216 |
| B. Cパーツ               | 1,008円 (960円)   | -    | -  | 19007235 |
| D. Eパーツ               | 1,008円 (960円)   | -    | -  | 19007236 |
| F. Gパーツ(2枚)           | 1,050円 (1,000円) | -    | -  | 19007239 |
| H. Jパーツ(3枚)           | 1,008円 (960円)   | -    | -  | 19007238 |
| K. Lパーツ               | 546円 (520円)     | -    | -  | 19117005 |
| N. Oパーツ               | 630円 (600円)     | -    | -  | 19117060 |
| ポリキャップ(8個)            | 210円 (200円)     | -    | -  | 10446168 |
| マーク                   | 294円 (280円)     | -    | -  | 11407003 |
| 軍艦旗シート                | 126円 (120円)     | -    | -  | 11407025 |
| 走行帯ステッカー              | 336円 (320円)     | -    | -  | 19497019 |
| 2.6mmナット(2個)          | 168円 (160円)     | -    | -  | 19808004 |
| 説明図                   | 525円 (500円)     | -    | -  | 11057333 |
| SG.23 2.6x18mm丸ビス(5本) | 105円 (100円)     | 90円  | -  | 40123    |

### AFTER MARKET SERVICE CARD

When purchasing replacement parts, please take or send this form to your local Tamiya dealer so that the parts required can be correctly identified. Please note that specifications, availability and price are subject to change without notice.

| Parts code | ITEM 78031             |
|------------|------------------------|
| 10117010   | Hull                   |
| 19337096   | Foredeck & Center Deck |
| 19007216   | BB Parts               |
| 19007235   | B & C Parts            |
| 19007236   | D & E Parts            |
| 19007239   | F & G Parts (2pcs.)    |
| 19007238   | H Parts (3pcs.)        |
| 19117005   | J Parts                |
| 19117060   | K Parts                |
| 10446168   | Poly Cap (8pcs.)       |
| 11407003   | Decals                 |
| 11407025   | Battle Flag Sheet      |
| 19497019   | Sticker (Walkway)      |
| 19808004   | 2.6mm Nut (2pcs.)      |
| 11057333   | Instructions           |
| 40123      | 2.6x18mm Screw (5pcs.) |

《住所》 〒422-8610 静岡市駿河区恩田原3-7  
株式会社タミヤ カスタマーサービス

《お問い合わせ電話番号》  
静岡 054-283-0003  
東京 03-3899-3765 (静岡へ自動転送)  
《カスタマーサービスアドレス》  
[http://tamiya.com/japan/customer/cs\\_top.htm](http://tamiya.com/japan/customer/cs_top.htm)



78031 1/350 Musashi (2013) (11057333)

# 1/350 Ship

[www.tamiya.com](http://www.tamiya.com)